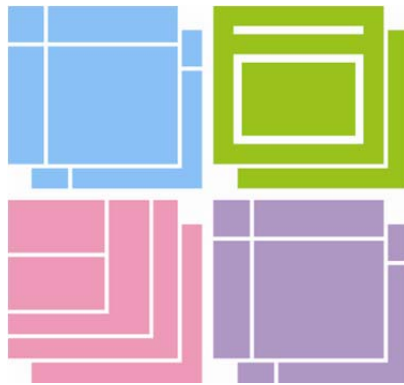


---

# CDPM-X

Chart Drawing system for Project Management

---



## Manual Tutorial

### ご注意

- ①このソフトウェアおよびマニュアルの著作権は、株式会社かねこにあります。
- ②このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用したり複製することはできません。
- ③このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ④このソフトウェアの仕様、およびマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。
- ⑤製品の内容につきましては万全を期しておりますが、ご不審な点や誤り、マニュアルの記載漏れなど、お気づきの点がありましたら弊社までご連絡ください。

Microsoft、MS、Windows は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

このソフトウェアおよびマニュアルに使用している名称は、すべて架空のものです。  
実在する商品名、部品名、機械名、団体名、個人名とは一切関係ありません。

C D P M は株式会社かねこの登録商標です。

Copyright 1991-2012 株式会社かねこ All rights reserved.

## このマニュアルについて

本書は、C D P M－X（Chart Drawing system for Project Management-X 以下、「C D P M－X」と呼びます。）の機能について説明するマニュアルです。本書は、Windows®をお使いになったことがあり、基本的な操作をある程度知っているかたを対象としています。

本書は、C D P M－X マニュアル チュートリアルです。C D P M－Xの機能について初めてお使いになる方が、少しずつ学習が進められるように図を使い操作説明を行ったものです。

## ご注意

C D P M－Xを使用するには、お使いのコンピュータに Windows® がセットアップされている必要があります。Windows®のセットアップについての説明は、Windows®に添付されているマニュアルを参照してください。本書ではC D P M－Xのセットアップが終了していることを前提に説明をします。

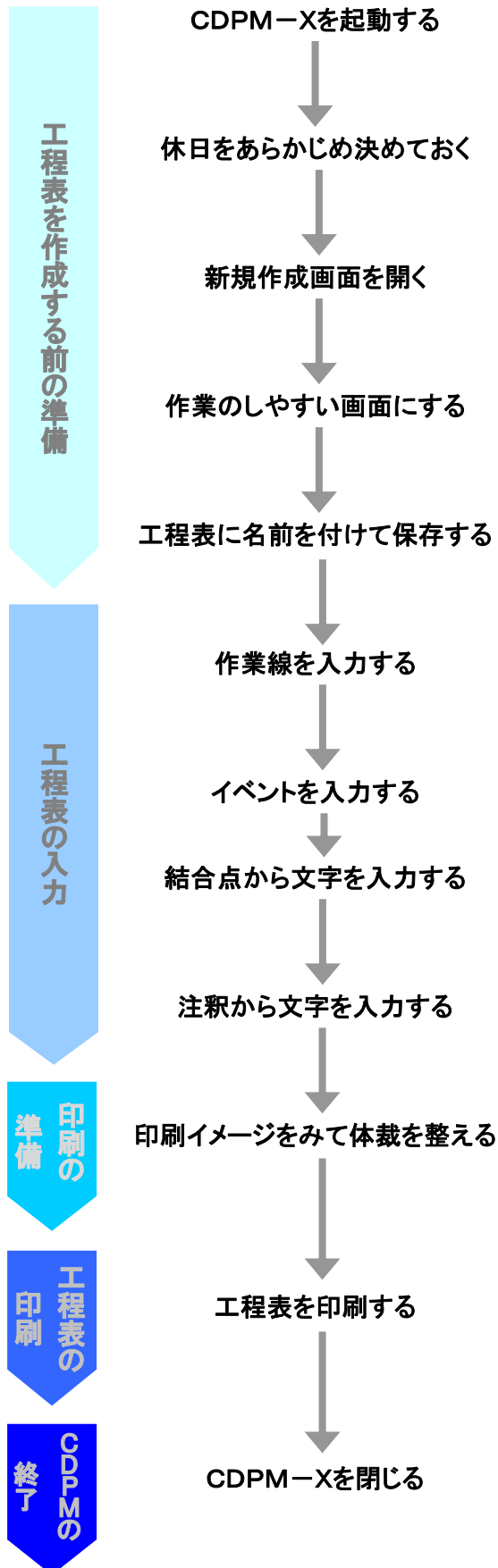


## 目 次

<b>CDPM-Xを起動する</b>	<b>1</b>
スタートメニューから起動する	1
休日をあらかじめ決めておく	2
<b>新しい工程表を入力する画面を開く</b>	<b>4</b>
新規作成画面を開く	4
工程表のプロパティとは	4
新規作成画面を開くため項目を入力する	4
作業のしやすい画面にする	8
画面に表示される文字の大きさを決める	8
工程表に名前を付けて保存する	9
<b>工程表にデータを入力する</b>	<b>11</b>
データを入力する	11
工程表の休日を変える	11
全ての項目線の色を変える	13
項目名の入力や表示幅・項目の高さ、特定の項目横線を変える	15
工程表の表示方法を変更するには	18
ホームリボンにて作業線データを入力しやすい設定にする	20
単入力モードで作業線を入力する	22
工程表の内容をコピーする	28
工程表にイベントを入力する	34
イベントを入力する	34
結合点のプロパティから文字を入力する	35
結合点をコピーして文字を変更する	36
作業線の開始及び終了結合点に文字を入力する	37
注釈から文字を入力する	38
注釈をコピーして文字を変更する	40
<b>工程表を印刷する</b>	<b>41</b>
印刷イメージをみて体裁を整える	41
印刷イメージをみる	41
印刷書式を選択する	42
設定している用紙サイズ1枚にデータを収める	43
用紙サイズを変更する	44
工程表をプリンタやプロッタに出力する	45
<b>CDPM-Xの終了</b>	<b>47</b>
CDPM-Xを閉じる	47
<b>CDPM-Xの画面構成</b>	<b>48</b>
CDPM-Xの画面構成	48
ビューのレイアウト	49



## 作業の流れ

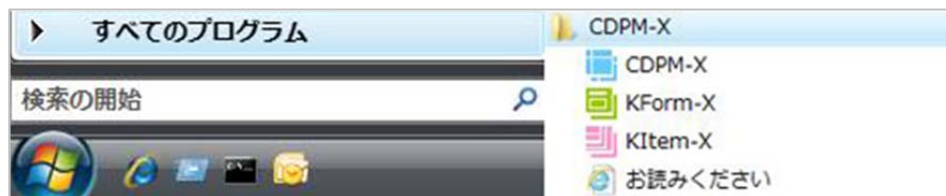


## CDPM-X を起動する

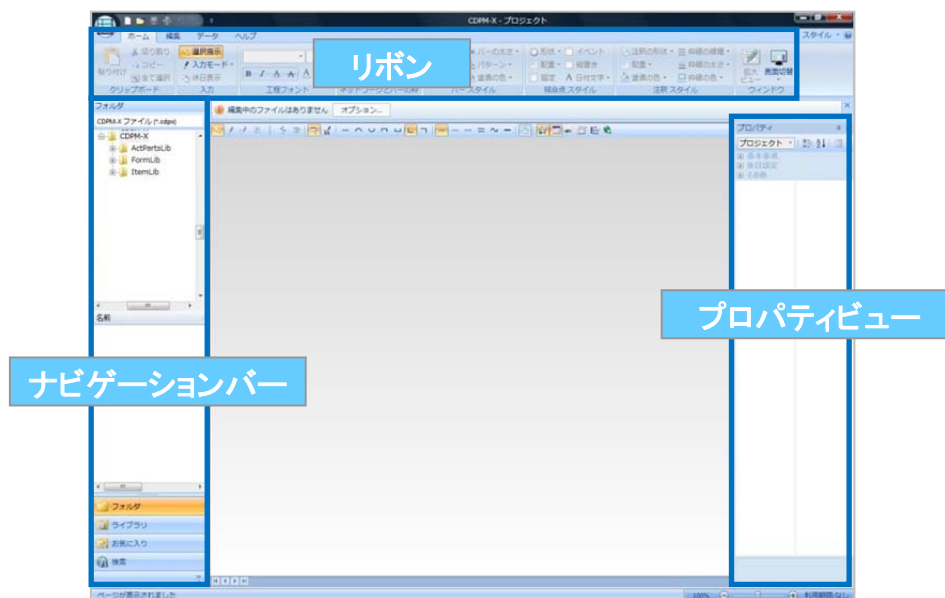
### スタートメニューから起動する

Windows®が正しく起動されていると、「CDPM-X」というタイトルのついたスタートメニューを表示します。このメニューから CDPM-X を起動する操作と起動後の画面を説明します。

Windows®のスタートメニューから表示される CDPM-X のメニュー



CDPM-X を起動したときの画面



### リボンについて

ホームリボン：	作業線・結合点・注釈スタイルの編集やウィンドウの表示/非表示切替を行います。
編集リボン：	編集中のプロジェクトに関する設定・変更、レイヤに関する設定・変更、新規作成データに反映するシステムの設定を行います。
データリボン：	入力したデータに日々の進捗状況を表す進捗線やクリティカルパス、ブラウザビューに作業一覧などを表示する設定を行います。
デザインリボン：	書式ビューを画面に表示し、書式ビュー画面上をクリック選択则表示される書式専用のリボンです。

### 画面上に表示/非表示できるビュー及びバーについて

ナビゲーションバー： ファイルを開いたり、書式・項目ライブラリの操作を行います。

プロパティビュー：	各要素のプロパティ情報を表示します。 ダイアログを表示せず、ビューから直接内容を編集することができます。
印刷ビュー：	印刷を行う専用ビューになります。 印刷実行のほかにページ設定や印刷範囲など印刷に関連する設定を行うことができます。
書式ビュー：	書式を表示し編集することができます。
補助項目ビュー：	補助項目を追加し、作業名の入力に合わせて切替を行うことができます。
ブラウザビュー：	CDPM プラスウェブなどを利用するブラウザ画面を表示します。
キャプションバー：	情報メッセージを表示します。

#### \* ビュー及びバーの表示/非表示について

[ホームリボン]-ウィンドウ内[画面切替]ボタンをクリックし表示されるリストにて設定を行います。ビューまたはバーの名称をクリックし表示/非表示を切替えます。またビューまたはバー右上「×」をクリックし非表示にします。

CDPM-Xの画面構成については、48ページをご覧ください。

### 休日をあらかじめ決めておく

新しい工程表作成時に必要な休日をあらかじめ決めておく操作を説明します。

ここでは、週間の休日と1年分の特別な休日をカレンダーを使って登録します。

特別な休日とは、国民の休日や会社の創立記念日など会社で定める休日で、通年にわたって変わらない休日をいいます。

- ① [編集リボン]-システム内[システム]ボタン下「▼」を選択します。

休日を設定するための[週間休日]と[年間休日]が表示されます。



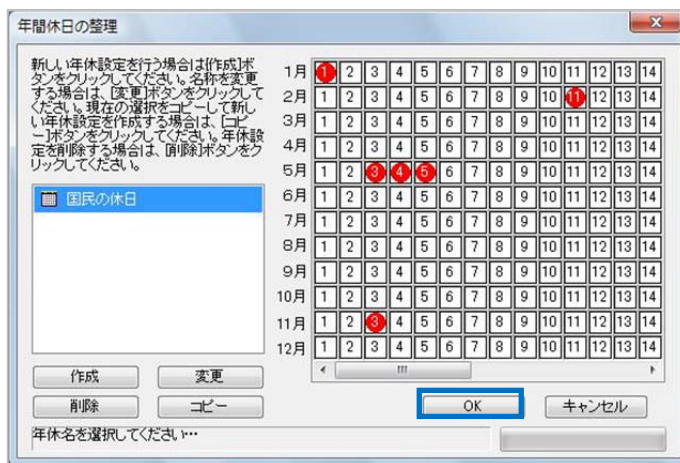
- ② 週間休日を選択します。



●印が付いている曜日が休日を示します。休日にするときや、休日を取り消すときは、該当する箇所をクリックします。クリックをすると●印が表示されたり、消えたりします。

- ③ [週間休日の整理] ダイアログボックスの<OK>ボタンを選択します。  
これで週間休日の設定は終了します。  
設定後、新規作成する工程表からこの週間休日データが有効になります。

- ④ [編集リボン]-システム内[システム]ボタン下「▼」を選択します。  
⑤ 年間休日を選択します。



●印が付いている日が休日を示します。休日にするときや、休日を取り消すときはその月日をクリックします。クリックをすると●印が表示されたり、消えたりします。画面に表示されていないときはスクロールバーを使って移動します。

- ⑥ [年間休日の整理] ダイアログボックスの<OK>ボタンを選択します。  
これで年間休日の設定は終了します。  
設定後、新規作成する工程表からこの年間休日データが有効になります。



## 新しい工程表を入力する画面を開く

### 新規作成画面を開く

新しい工程表を作成するときに必要な項目の入力や、入力する画面を開く操作を説明します。

#### ●工程表のプロパティとは

新しい工程表を作成するための入力画面を開くには、次の項目を設定します。

- 工程表のタイトル（プロジェクト名）
- 工程表の開始日＜必須入力＞
- 工程表の終了日、または開始日からの期間または稼働日＜必須入力＞
- 週間の休日をどうするか＜必須入力＞
- 年間の休日をどうするか＜必須入力＞
- 登録されている項目のデータを使用するか
- 登録されている書式データを使用するか
- ハッピーマンデーのデータを適用するか

工程表を作成するために必要な項目を「工程表のプロパティ」と呼びます。

**参考** 工程表のプロパティは工程表作成した後から変更できます。

- [プロパティビュー]－[プロジェクトカテゴリ]から変更できる項目  
タイトル・開始日・終了日・年間休日・週間休日・ハッピーマンデーの適用
- [編集リボン]－プロジェクト内[期間]から変更できる項目  
タイトル・開始日・終了日・暦日日数・ハッピーマンデーの適用
  - \* プロジェクトカテゴリ－ダイアログ表示ボタンからも同じ変更可能
  - \* 開始日・終了日・暦日日数変更時は入力済のデータ保護が最優先になります。  
開始日・終了日・暦日日数の変更時にメッセージが表示になるときは、  
下記の設定を行います。  
開始日を設定後、暦日日数を維持し計算ボタンをクリック。仮の終了日を設定します。  
その後入力データを移動し、再度終了日を設定します。
- 印刷書式の変更について  
[ナビゲーションバー]－[ライブラリ]を選択－上部[ライブラリ]書式ライブラリの形式を選択－書式データの保存先を選択－下部[名前]データ名を選択


#### ●新規入力画面を開くため項目を入力する

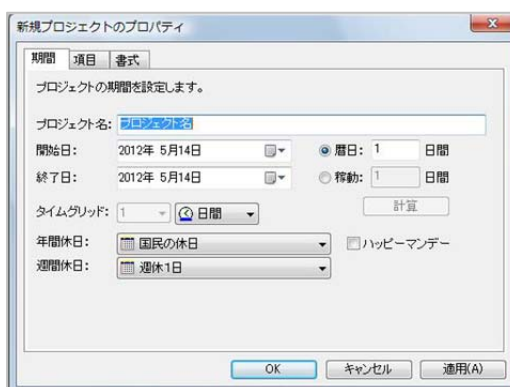
新しい工程表の入力画面を開くには、次のように操作をします。

- ① [ファイルメニュー]－[新規作成]コマンドを選択します。

[新しい工程表を入力する画面を開く]



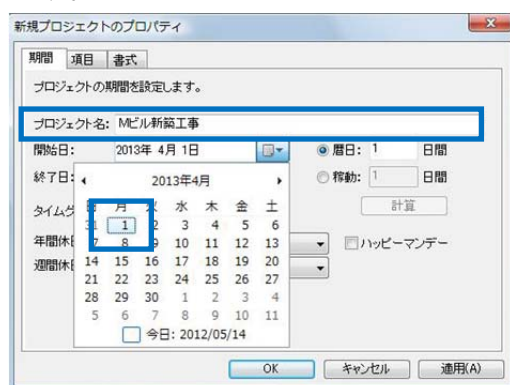
**参考** クイックアクセスツールバー内[新規作成]ボタン  を選択すると、新規プロジェクトプロパティダイアログボックスが表示されます。



**注意** [新規プロジェクトのプロパティ]ダイアログボックスが表示されたときの開始と終了の年月日は、お使いのコンピュータが記憶している現在の日付が表示されます。

② 工程表のタイトルを入力します。

[プロジェクト名:]テキストボックスに、工程表のタイトル『Mビル新築工事』とキーボードを使って入力します。



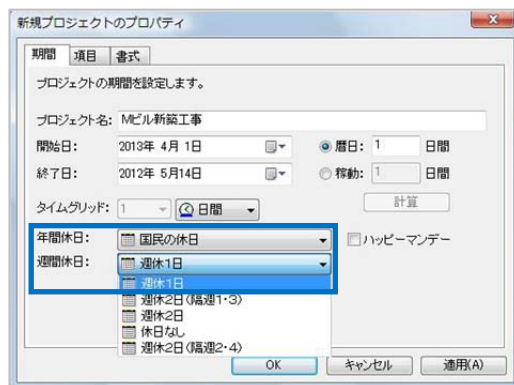
③ 開始日右側カレンダーマークをクリックし、カレンダーポップアップから開始日を選択します。『2013年4月1日』を選択します。

④ 年間休日を選択します。

[年間休日:]コンボボックスから『国民の休日』を選択します。

⑤ 週間休日を選択します。

[週間休日:]コンボボックスから『週休1日』を選択します。

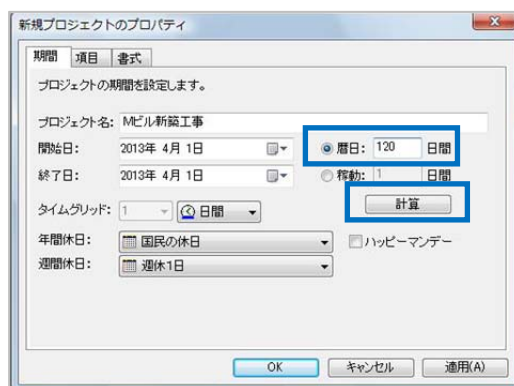


⑥ マウスで[暦日:]テキストボックスをクリックします。

[暦日:]テキストボックスに入力カーソルが移動します。

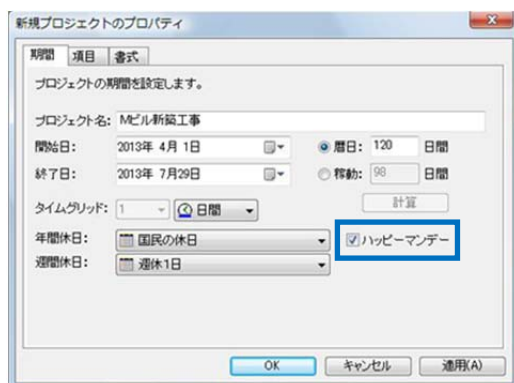
⑦ 開始日からの期間を入力します。

[暦日:]テキストボックスに半角数字で『120』と入力し、[計算]ボタンをクリックすると、終了日を計算し表示します。



⑧ ハッピーマンデーチェックボックスにチェックを入れます。

\*ハッピーマンデー+変動型祝日データの休日表示を行います。

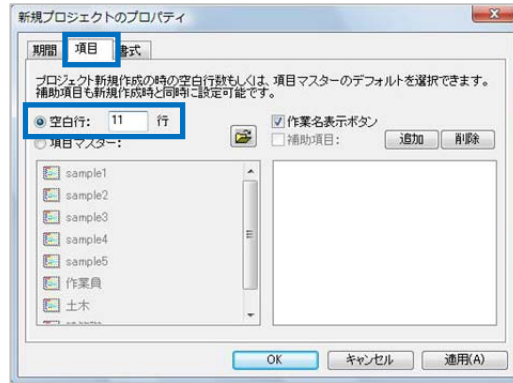


**参考** 終了日は開始日と同様にカレンダーから直接選択できます。

終了日をカレンダーから直接選択したときは、暦日日数・稼働日数を自動計算し表示します。

⑨ 項目データを選択します。

[項目]タブ表示し<空白行:>ボタンを選択後、[空白行:]テキストボックスに半角数字で『11』と入力します。



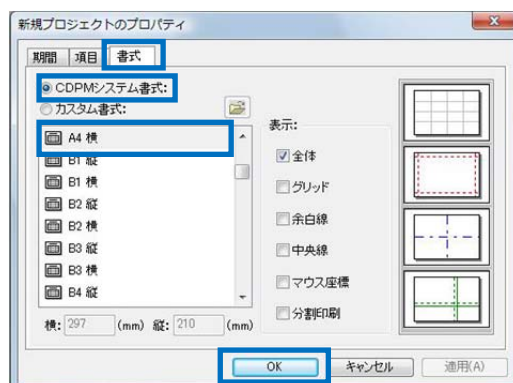
**参考** <項目マスター:>ボタンを選択後、リストの中から項目データを選択することも可能です。一覧表示される項目データは、現在項目ライブラリに登録されている項目マ（スターファイル\*.itm）が表示されます。目的のファイルが見つからないときは、ライブラリボタン選択して表示される[フォルダの参照]ダイアログボックスから選択します。

<ライブラリボタン>



⑩ 書式データを選択します。

[書式]タブを表示し<CDPMシステム書式:>ボタン選択後、『A4横』を選択します。

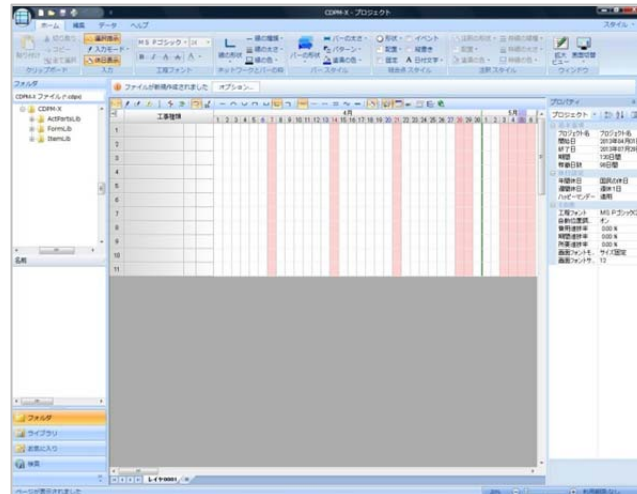


**参考** <カスタム書式:>ボタンを選択後、リストの中から書式データを選択することも可能です。一覧表示される書式データは、現在書式ライブラリに登録されている書式ファイル (\*.cfmx) が表示されます。目的のファイルが見つからないときは、ライブラリボタンを選択して表示される[フォルダの参照]ダイアログボックスから選択します。

<ライブラリボタン>



- ⑪ <OK>ボタンを選択します。



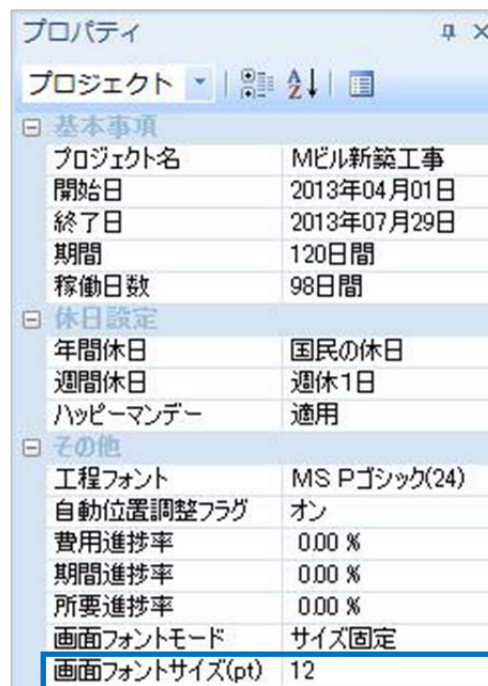
## 作業のしやすい画面にする

作業のしやすい画面にする操作を説明します。

### ●画面に表示される文字の大きさを決める

工程表示画面（作業線入力画面）の文字の大きさを変更する操作を説明します。

- ① [プロパティビュー]—[プロジェクトカテゴリ]コマンドを選択します。
- ② 画面フォントサイズの数値を変更します。



**注意** 画面の文字の大きさはお使いのコンピュータの環境により異なります。

操作は工程画面上の表示フォントを確認しながら、作業のしやすいフォントサイズを入力します。

**参考**

工程表示画面を選択しているときに「Ctrl」キーを押しながらマウスホイールをスクロールすると画面が拡大縮小します。

工程表示画面では作業線データなどを入力しやすい画面に調整する設定として、画面表示フォントサイズを変更せずにカレンダー幅を調整することが可能です。

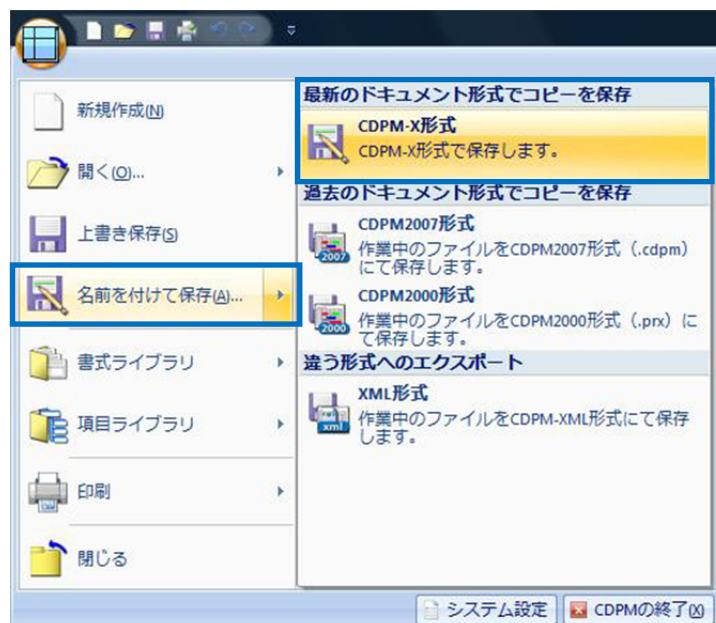
工程表示画面のカレンダー上で右クリック、[幅の設定] コマンドを選択しますと、[カレンダー幅の調整] ダイアログボックスが表示されます。スクロールバーをドラッグしカレンダー幅の調整をします。印刷時のデータには反映しません。

## 工程表に名前を付けて保存する

新規作成した工程表に名前を付けて保存する操作を説明します。

工程表に名前を付けて保存するには次のように操作します。

- ① [ファイルメニュー]－[名前を付けて保存]コマンドを選択します。



**参考**

CDPM-X にて作成したデータは次の形式のデータにて保存できます。

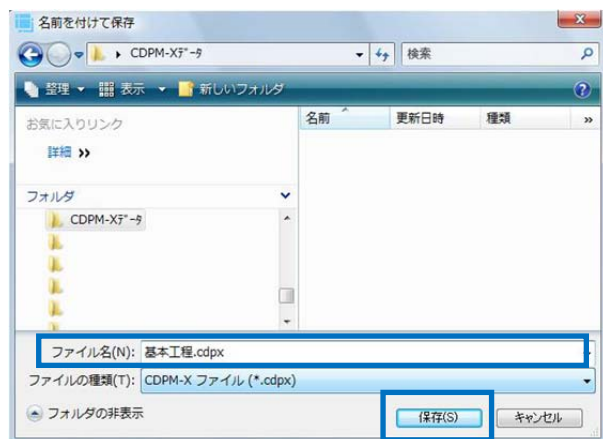
CDPM2007 形式    CDPM2000 形式    CDPM-XML 形式

\* CDPM-X 新機能を使用したデータは CDPM2007 形式・CDPM2000 形式に反映されません。

- ② [名前を付けて保存]ダイアログボックスにファイル名を入力します。

[ファイル名:]テキストボックスに『基本工程』と入力します。

[新しい工程表を入力する画面を開く]



- ③ [名前を付けて保存]ダイアログボックスの<保存>ボタンを選択します。  
マウスポインタの形状に変わり、しばらくすると元の矢印の形状に戻ります。  
これで新規作成したデータに『基本工程』というファイル名を付け、保存が終了しました。

**注意** 長時間にわたり編集作業を続けるときは、適当な時間ごとに保存することをお勧めします。



## 工程表にデータを入力する

### データを入力する

編集作業中の工程表の休日変更や、作業線の形（線型）と、線の種類（線種）を組み合わせ、データを入力する操作を説明します。開いたとき、新規作成時設定した年間休日・週間休日に色が表示されます。工程表を作成したあとから休日の設定を切り替えることもできます。

#### ●工程表の休日を変える

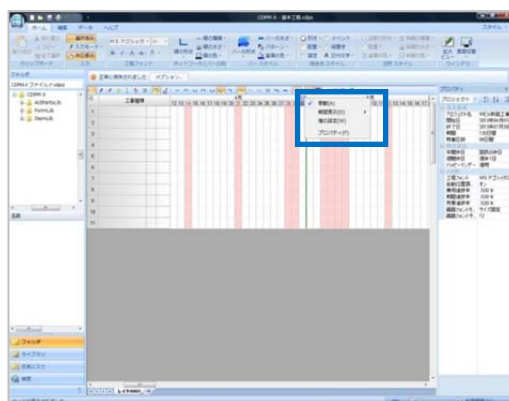
新しい工程表を開いたとき、新規作成時設定した年間休日・週間休日に色が表示されています（休日表示設定/休日塗潰設定）。

工程表を作成した後から、休日の設定を変更することができます。

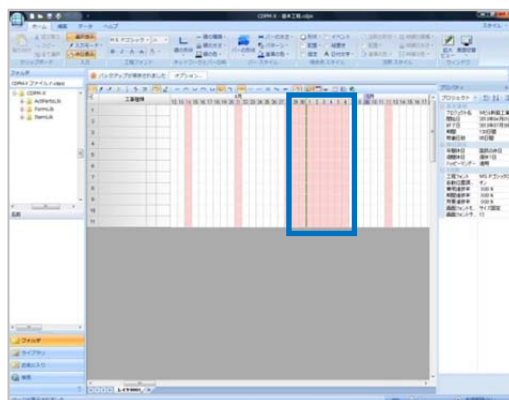
この工程表では4月30日～5月2日を休日に切り替えます。

稼働日を休日または休日を稼働日に変更するには下記操作にてポップアップメニューから[稼働]コマンドを選択し直接変更します。

- ① 4月30日のカレンダー表示部分にマウスポインタを合わせ、右クリックして表示されるポップアップメニューから[稼働]コマンドを選択します。



- ② 再度①の操作を行い、5月1日～5月2日を休日にします。

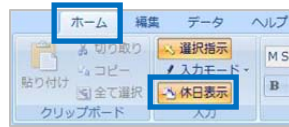




参考

● 休日の表示と非表示の切り替えは次の操作を行います。

○ [ホームリボン]－入力内[休日表示]のON/OFF



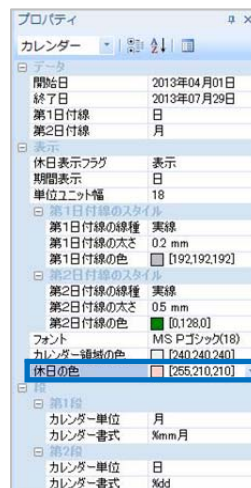
○ 工程バー内[休日表示切替ボタン]のON/OFF

○ [プロパティビュー]－[カレンダーカテゴリ]－[休日表示フラグ]の表示/非表示の選択

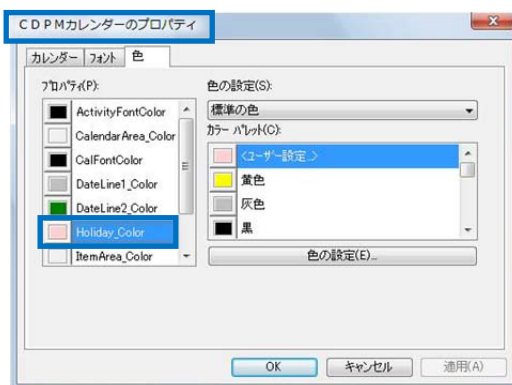


● 塗潰しの色の変更は次の操作を行います。

○ [プロパティビュー]－[カレンダーカテゴリ]－[休日の色]をクリックしカラーポップアップから色を変更します。



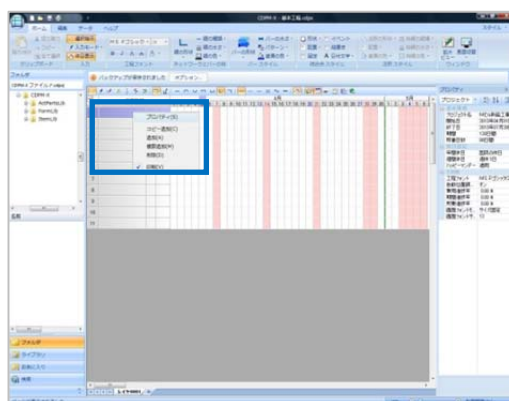
○ 工程表示画面カレンダー表示エリアを右クリック－プロパティを選択、CDPMカレンダーのプロパティダイアログボックス－色タブを選択、[Holiday\_Color]を選択し色を変更します。



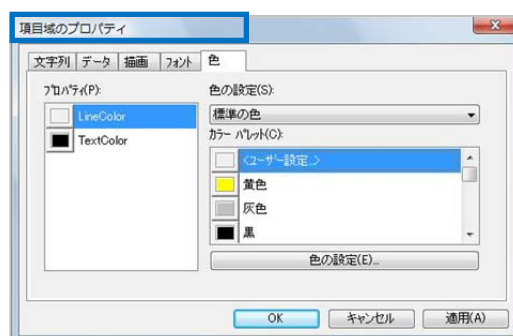
## ●全ての項目線の色を変える

工程表内の項目行を区別するために引かれている項目線（横線）の色を変えるには次の操作を行います。

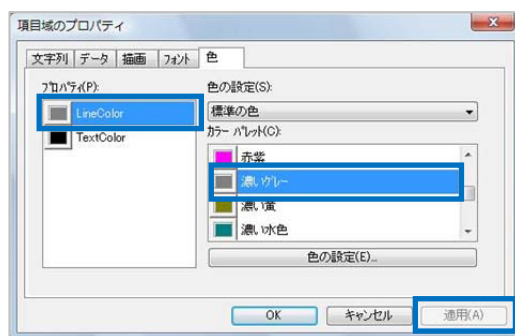
- ① 項目行を右クリック後、表示されるポップアップメニューから[プロパティ]コマンドを選択します。項目域のプロパティダイアログボックスが表示になります。



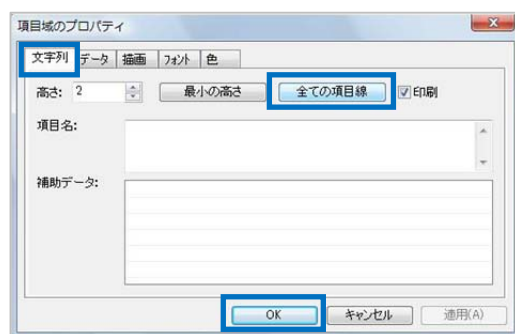
- ② [項目域のプロパティ]－[色]タブを選択します。



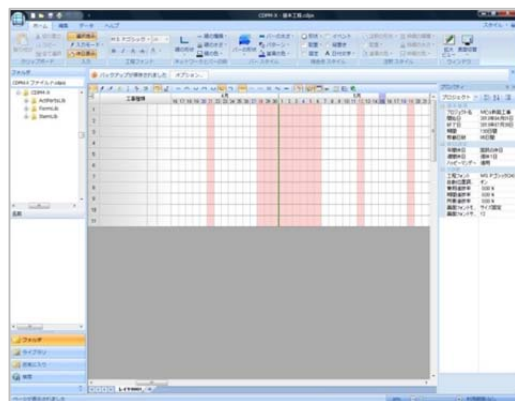
- ③ [プロパティ]リスト中から[LineColor]を選択します。[カラーパレット]の中から[濃いグレー]を選択します。[色]タブ内<適用>ボタンを選択します。



- ④ [文字列] タブの[全ての項目線]ボタンを選択します。  
[文字列] タブ内<OK>ボタンを選択します。



全ての項目線の色を『濃いグレー』に変更します。



## 参考

- 全ての項目線の線種や線幅を変更するには次の操作を行います。

項目行を右クリック、プロパティを選択し項目域のプロパティを表示します。

[描画] タブを選択し、線の種類や線幅をドロップダウンリストから選択します。

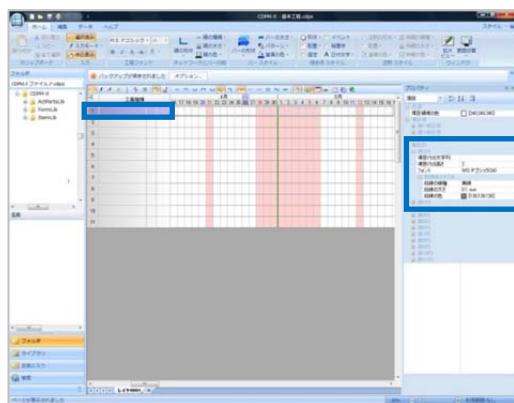
[描画] タブ内<適用>ボタンをクリックし、[文字列タブ]を選択します。

[文字列] タブの[全ての項目線]ボタンを選択し、[文字列] タブ内<OK>ボタンを選択します。

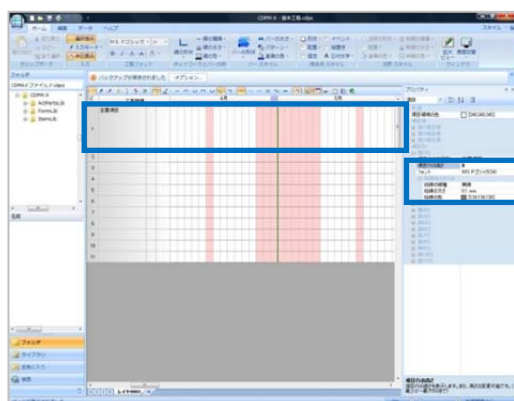
## ●項目名の入力や表示幅・項目の高さ、特定の項目横線を変える

項目の中に文字を入力する方法や表示幅の変更、項目の高さを変更する操作を説明します。  
ここでは、項目に文字を入力し、項目の高さ、特定の項目横線の線種を変更します。

- ① 文字を入力する項目行第 1 行にマウスポインタを合わせにクリックすると、プロパティビューが[項目カテゴリ]表示に切替り、項目行第 1 行のデータが開きます。

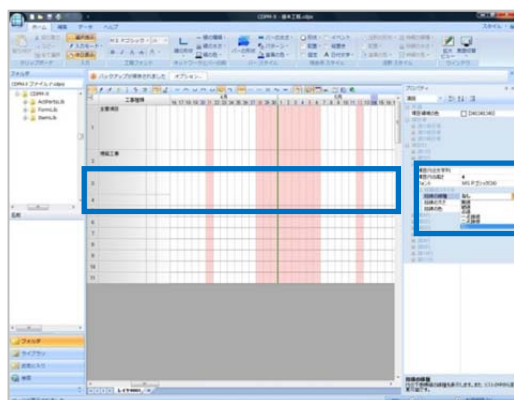


- ② [項目カテゴリ]—第 1 行内[項目行の文字列]に『主要項目』と入力し、[項目行の高さ]に『8』と入力します。



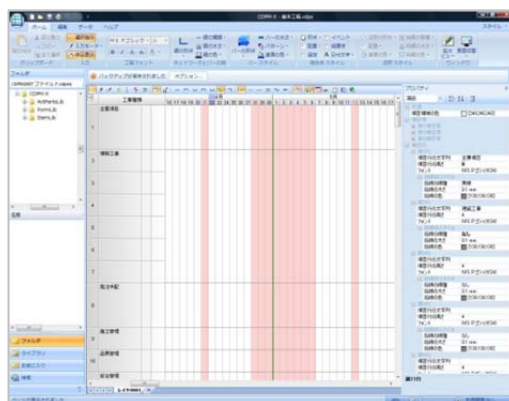
項目に文字が表示され、項目の高さを変更されて表示されます。

- ③ 区切線の線種を変更するときは、各行段線の線種ドロップダウンリストの中から選択します。



①～③の操作を行い、次の項目行に文字入力、表示高さ、区切線の線種を変更します。

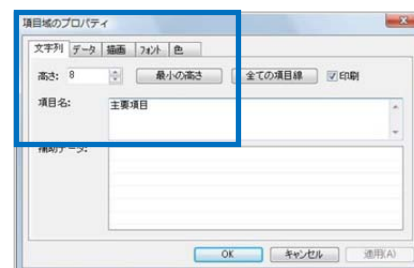
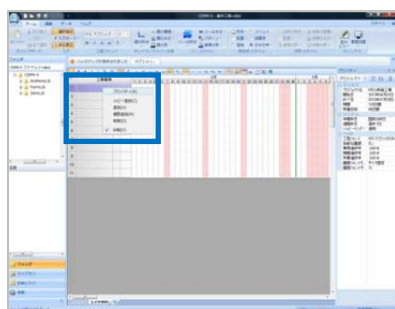
行	項目行の文字列	項目行の高さ	区切線の線種	区切線の太さ
2 行目	建築工事	高さ : 4	なし	0.1mm
3 行目	空白 (項目名なし)	高さ : 4	なし	0.1mm
4 行目	空白 (項目名なし)	高さ : 4	なし	0.1mm
5 行目	空白 (項目名なし)	高さ : 4	なし	0.1mm
6 行目	空白 (項目名なし)	高さ : 4	なし	0.1mm
7 行目	空白 (項目名なし)	高さ : 4	実線	0.1mm
8 行目	発注手配	高さ : 7	実線	0.1mm
9 行目	施工管理	高さ : 4	実線	0.1mm
10 行目	品質管理	高さ : 4	実線	0.1mm
11 行目	安全管理	高さ : 4	実線	0.1mm



## 参考

●項目行への文字入力には次の操作からも行えます。

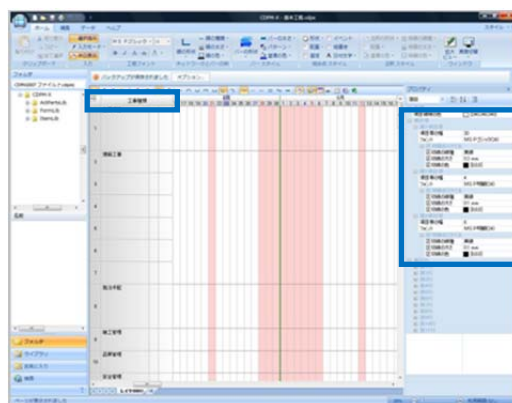
○文字を入力する項目行にマウスポインタを合わせ右クリックし、表示されるポップアップメニューから[プロパティ]コマンドを選択します。項目域のプロパティダイアログボックス文字列タブ内項目名 : テキストボックスに文字を入力します。同じく文字列タブでは高さの変更も行えます。



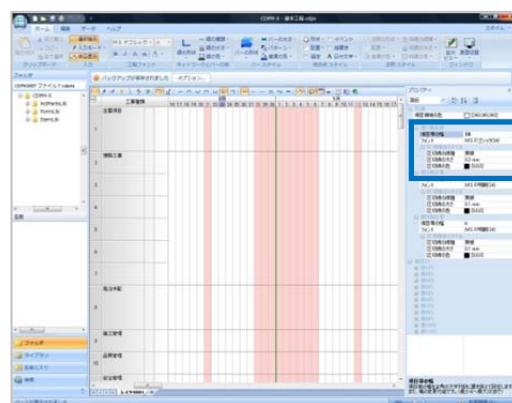
○文字を入力する項目行にマウスポインタを合わせダブルクリックし、直接文字を入力します。

工事種類	
1	工事の種類
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	

- ④ 項目の横幅を変更する操作を行います。工事種類の文字上にマウスポインターを合わせクリックします。[項目カテゴリ]ー項目帯のデータが開きます。



- ⑤ [項目カテゴリ]ー第1項目帯内[項目帯の幅]を『18』と入力します。

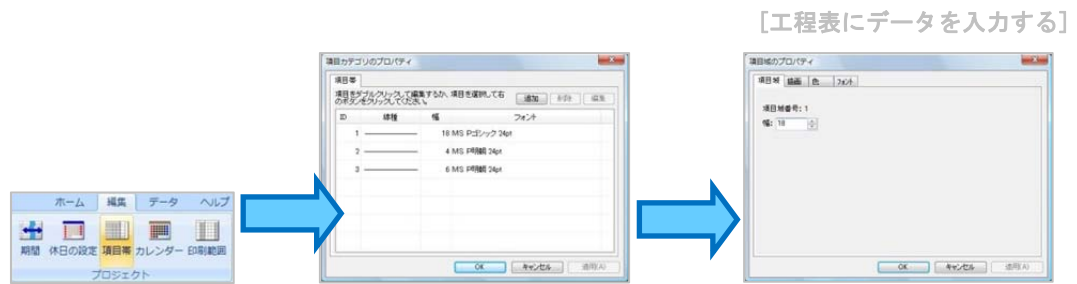


## 参考

●項目帯の幅の変更は次の操作からも行えます。

○[編集リボン]ー[項目帯]を選択し、項目カテゴリのプロパティを表示します。

ID : 1をダブルクリックまたはID : 1を選択後編集ボタンをクリックし項目域のプロパティを表示します。[項目域]タブ内幅を変更します。



## ●工程表の表示方法を変更するには

工程表の表示方法には次の項目があります。

表 示 方 法	レイヤカテゴリ 変更箇所	レイヤプロパティ 変更箇所
作業線の表示方法 (作業線の表示モード)	作業線の形状	描画
作業名の表示方法 (作業名の表示モード)	作業名の表示	文字
休日の陰線処理方法 (休日の表示方法)	休日陰線	休日
作業日数の表示方法 (作業日数の表示モード)	日数表示フォーマット	日付

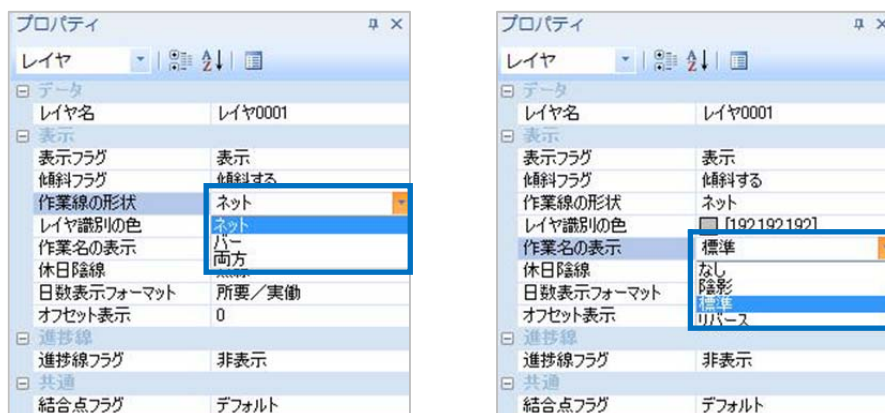
工程表の表示モードを変更するには次の操作を行います。

- ① 工程表示画面上をクリックすると[レイヤカテゴリ]に切替ります。

作業線の表示方法を変更するには

[レイヤカテゴリ]—[作業線の形状]ドロップダウンリストの中から選択します。

ネット/バー/両方：バー表示内にネットを同時表示



作業名の表示方法を変更するには

[レイヤカテゴリ]—[作業名の表示]ドロップダウンリストの中から選択します。

なし（画面上に作業名を非表示）

陰影（画面上に作業名エリアのみ表示し、作業名は非表示）



標準（作業線の一部に作業名を表示）

リバーズ（作業線の一部に作業名を表示）

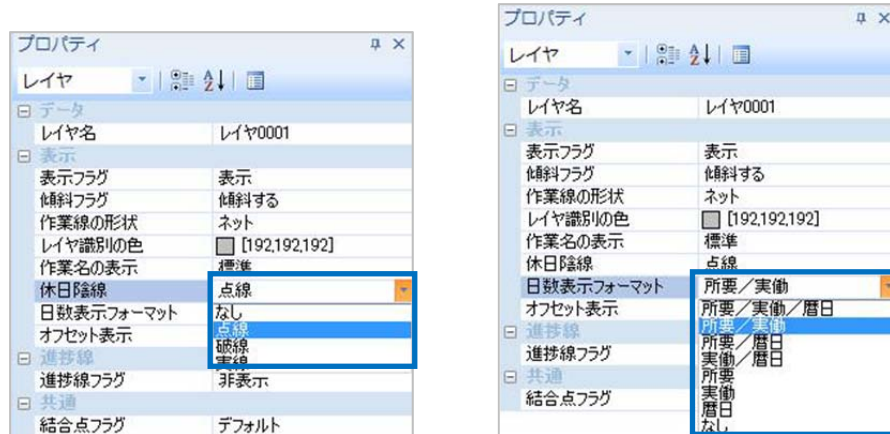
休日の陰線処理方法を変更するには

[レイヤカテゴリ]－[休日陰線]ドロップダウンリストの中から選択します。

なし：（休日にかかる作業線は非表示）

点線・破線：（休日にかかる作業線は点線または破線を表示）

実線：（休日にかかる作業線は実線を表示）



作業日数の表示方法を変更するには

[レイヤカテゴリ]－[日数表示フォーマット]ドロップダウンリストの中から選択します。

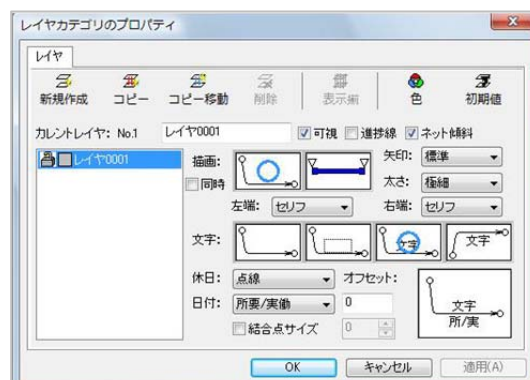
**参考** 作業線に日付を表示しないようにするには、[レイヤカテゴリ]－[日数表示フォーマット]ドロップダウンリストから『なし』を選択します。

**参考** 表示モードの変更は次の操作から行えます。

○[編集リボン]－レイヤ内[レイヤ]ボタンをクリックします。



レイヤカテゴリのプロパティを表示します。



作業線の表示方法の変更：描画

作業名の表示モードの変更：文字



休日の陰線処理方法の変更：休日 作業日数の表示方法の変更：日付  
それぞれ変更したい箇所を画像またはドロップダウンリストにて変更します。  
変更後、レイヤカテゴリのプロパティ内<OK>ボタンを選択します。

## ●ホームリボンにて作業線データを入力しやすい設定にする

### ●入力方法の切り替え

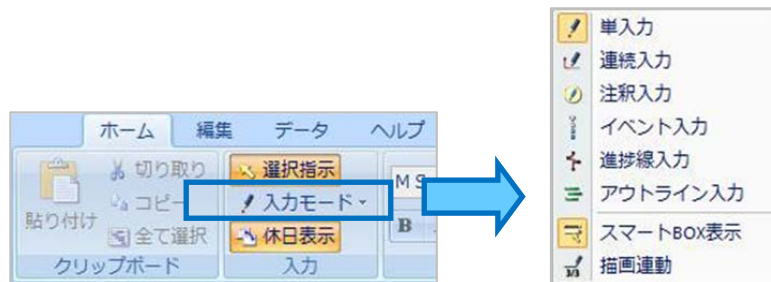
ホームリボンー入力に入力方法を切り替えるボタン及びドロップダウンリストがあります。

<選択指示>ボタン・<入力モード>ドロップダウンリスト

ボタンを選択すると色が変わります。

選択指示：作業線などのデータを選択や移動などデータを編集するときに選択します。

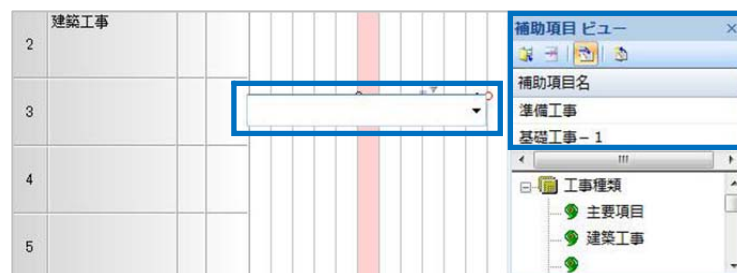
入力モードドロップダウンリスト：作業線・注釈・イベントデータなどを入力するときに選択します。



### ●スマートBOX表示を行うには

ホームリボンー入力内[入力モード]ドロップダウンリストから[スマートBOX表示]を選択します。

[補助項目ビュー]ー補助項目名一覧にてデータを選択していないときは、スマートBOXが表示され文字が入力できます。入力した文字は作業線に反映します。



### 参考 補助項目名一覧のデータを作業名入力時に表示するには

補助項目ビューを表示し、補助項目の追加ボタンを選択。表示される項目ライブラリの選択ダイアログボックスにてデータ名を選択、<OK>ボタンを選択し補助項目一覧に項目マスターを追加します。補助項目一覧にてデータ名を選択しているときは項目マスターリストを作業線入力時に表示します。

- 所要日数の表示を作業線の伸縮に合わせた表示を行うには  
作業線の期間変更に合わせて所要日数表示の設定は、ホームリボン入力内[入力モード]  
ドロップダウンリストにて[描画連動]を選択します。
- 作業線の形状を選択するには  
作業線の形状を選択するには、ホームリボンネットワークとバーの枠内[線の形状]ドロップ  
ダウンリストにて7種類の形状から選択します。
- 作業線の種類を選択するには  
作業線の種類を選択するには、ホームリボンネットワークとバーの枠内[線の種類]ドロップ  
ダウンリストにて6種類から選択します。
- 作業線の太さをを選択するには  
作業線の太さをを選択するには、ホームリボンネットワークとバーの枠内[線の太さ]ドロップ  
ダウンリストにて10種類の太さから選択します。

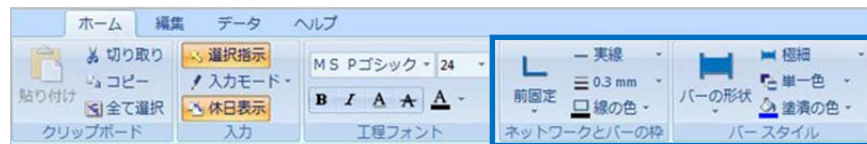
## 参考

作業線入力後に形状・種類・太さを変更することができます。

○ホームリボン内ネットワークとバーの枠/バースタイル

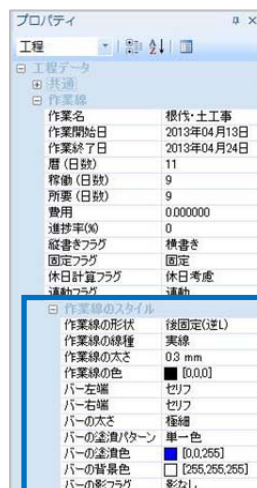
作業線を選択後、各コマンドから変更します。

ホームリボンでは複数の作業線データを一括変更することができます。

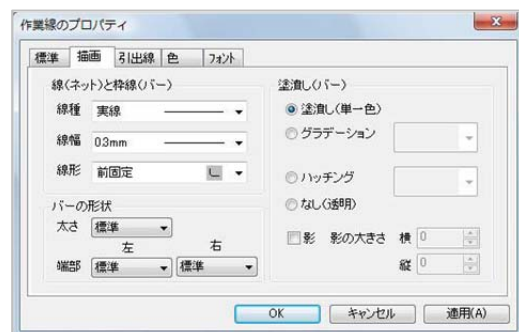


○プロパティビュー[工程カテゴリ]

作業線上をクリック選択するとプロパティビューが[工程カテゴリ]に切替り、プロパティ情報を表示します。その中に[作業線のスタイル]情報があり、各コマンドにて変更します。



プロパティビュー[工程カテゴリ]



作業線のプロパティ

### ○作業線のプロパティ

作業線上を右クリックしプロパティを選択。[作業線のプロパティ]ダイアログボックスー[描画]タブを選択し各ドロップダウンリストにて変更します。

## 参考

入力方法の切り替えやスマートBOX表示の設定は工程バーからも行えます。



## ●単入力モードで作業線を入力する

＜単入力＞モードにて作業線を入力する操作の説明をします。

最初に、建築工事2段目から7段目に作業線を入力します。

- ① ホームリボンまたは工程バーから次の入力方法を選択します。

＜単入力＞

＜スマートBOX表示＞

＜前固定（L字）＞



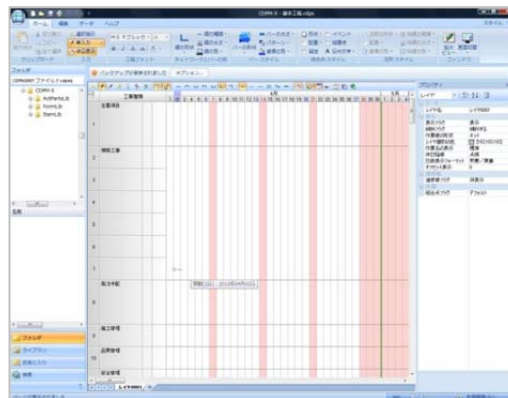
＜描画連動＞

＜実線＞



- ② 作業名：地鎮祭 期間4月2日～4月2日 所要：1日 を入力します。

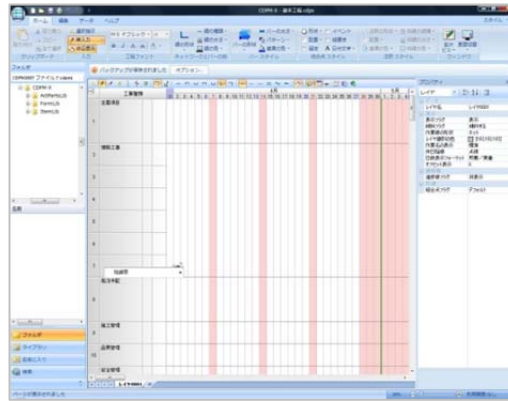
項目7段目の4月1日と4月2日の間にある日付線にマウスポインタを合わせ、マウスの左ボタンを押した状態で、4月2日と4月3日の間にある日付線までマウスを動かし左ボタンを離します。（この操作を、左ドラッグと呼びます。）



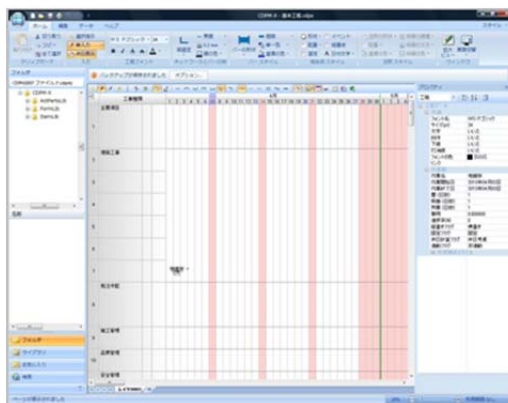
作業の始まる日は固定されていて、ドラッグしている間はマウスの移動する方向に伸縮自由な作業線が表示されます。作業線の下には所要日数と実働日数が表示され、マウスの移動とともにツールチップの日数が変わります。

- ③ 作業線スマートBOX表示が表示になります。

『地鎮祭』と入力します。



- ④ 字入力後 Enter キーを 2 回押し、入力文字を確定します。



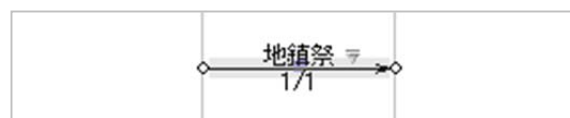
**注意** 作業線の下に表示される日数は作業日数の表示モードにより異なります。作業日数の表示の表示モード『なし』を選択しているときは日付を表示しません。

**参考** 工程表示画面にてマウスを動かすと、工程表のカレンダー部分が反転表示され同じように移動します。この反転表示を「カレンダーのツールチップ」と呼びます。また、マウスポインタが示すカレンダーの日付はツールチップに表示します。

**参考** 作業線の選択表示方法は 2 通り

A : ホバーセレクト

<選択/指示>を選択し、作業線上にマウスポインタを合わせた状態

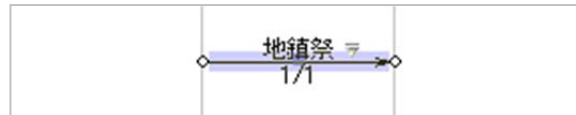


\* 選択している作業線には<淡いグレー>の色が表示になります。

B : セレクト

<選択/指示>を選択し、作業線上にマウスポインタを合わせクリックした状態  
プロパティビューを選択しているときは、工程カテゴリに切替ります。

また、ホームリボンの各カテゴリも選択しているデータの情報を表示します。



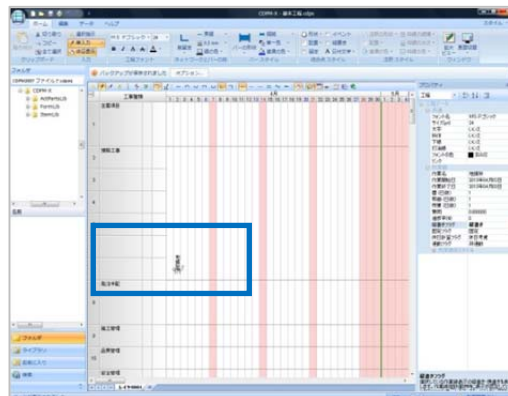
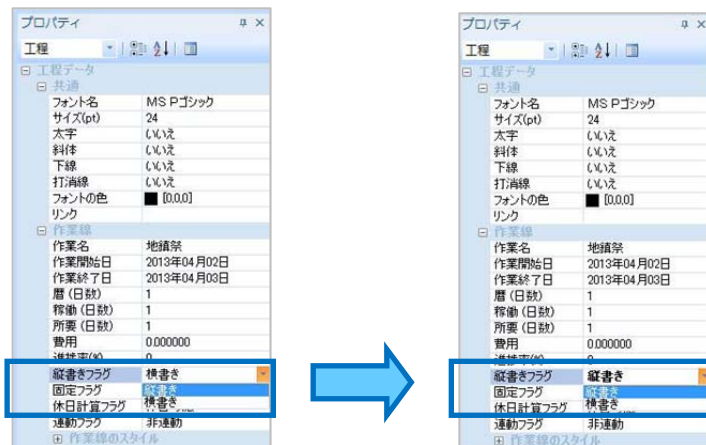
\* 選択している作業線には＜淡いむらさき＞の色が表示になります。

**参考** 選択している作業線上にカーソルを合わせ右クリックすると、ポップアップメニューが表示になり、[プロパティ]コマンドを選択すると[作業線のプロパティ]ダイアログボックスが表示になります。

#### ⑤ 文字を縦書きに変更する

作業線をクリックしプロパティビューを工程カテゴリに切替えます。

[縦書きフラグ]ドロップダウンリストの中から[縦書き]を選択します。



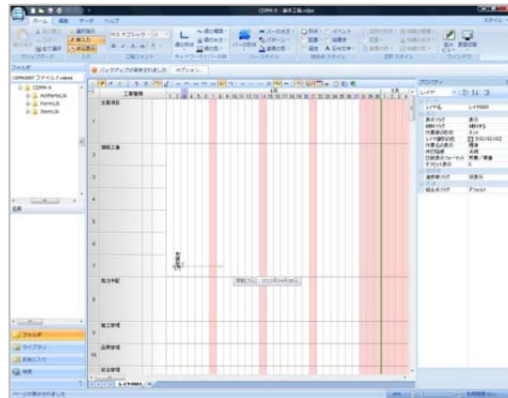
作業名地鎮祭が作業線の中央に縦書き表示になりました。

**参考** [作業線のプロパティ]ダイアログボックスからも縦書きに変更できます。  
[作業線のプロパティ]ダイアログボックス－[標準]タブ内[縦書]ボタンを選択します。選択しているときはボタンに色を表示します。

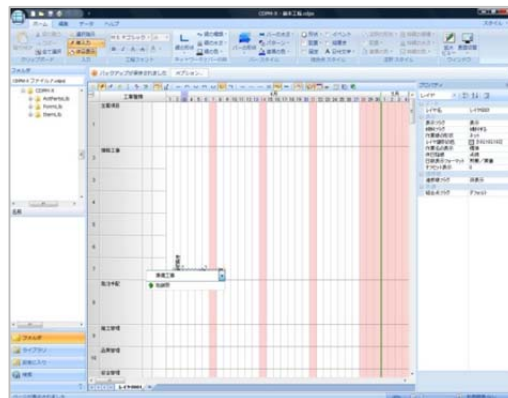
#### ⑥ [ホームリボン]－ネットワークとバーの枠内[線の種類]ドロップダウンリストから＜波線＞ を選択します。

**注意** [線の種類]を変更するときは作業線を選択していない状態で行ってください。

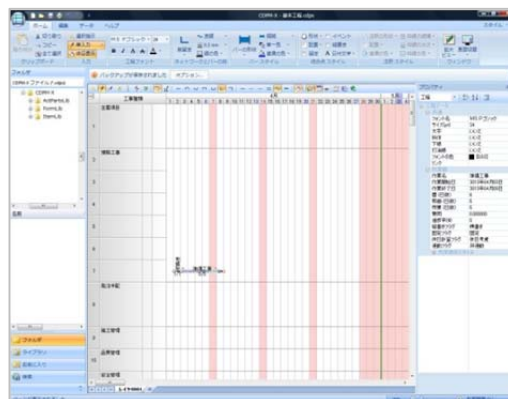
- ⑦ 作業名：準備工事 期間：4月3日～4月8日 所要：5日 を入力します。  
地鎮祭が終わる4月2日と準備工事が始まる4月3日の間の日付線から、工事が終わる4月8日と4月9日の間の日付線まで右クリックし、スマート表示BOXに『準備工事』と入力し、文字を確定します。




作業線を入力します。



作業線インプレス入力BOXに『準備工事』と入力します。



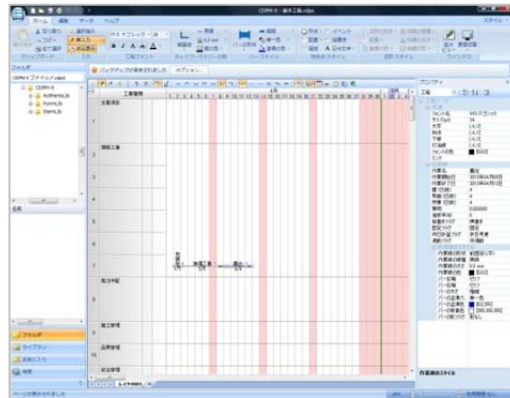
文字を確定します。


- ⑧ [ホームリボン]－ネットワークとバーの枠内[線の種類]ドロップダウンリストから  
＜実線＞  を選択します。

**注意** [線の種類]を変更するときは作業線を選択していない状態で行ってください。



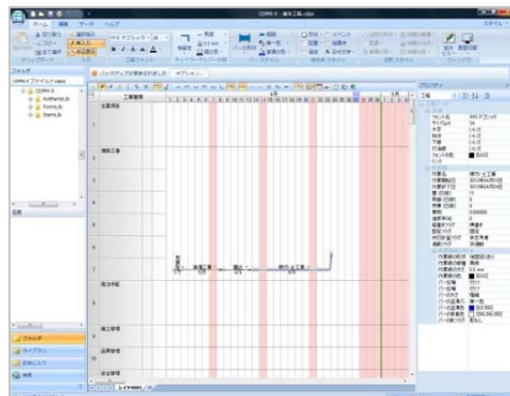
- ⑨ 作業名：墨出 期間：4月9日～4月12日 所要：4日 を入力します。  
準備工事が終わる4月8日と墨出が始まる4月9日の間の日付線から墨出が終わる4月12日と4月13日の間の日付線まで右クリックし、スマート表示BOXに「墨出」と入力し、文字を確定します。



- ⑩ [ホームリボン]ーネットワークとバーの枠内[線の種類]ドロップダウンリストから<後固定（逆L字）>  を選択します。

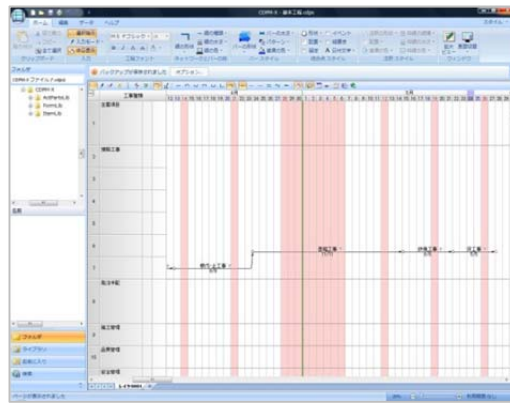
**注意** [線の種類]を変更するときは作業線を選択していない状態で行ってください。


- ⑪ 作業名：根伐・土工事 期間：4月11日～4月23日 所要：9日 を入力します。  
墨出が終わる4月12日と根伐・土工事が始まる4月13日の間の日付線から根伐・土工事が終わる4月23日と4月24日の間の日付線まで右クリックし、スマート表示BOXに「根伐・土工事」と入力し、文字を確定します。



- ⑫ 今まで行った操作をもとに、次の作業線を入力します。

作業名：基礎工事	期間：4月24日～5月14日	所要：11日
作業名：鉄骨建方	期間：5月15日～5月21日	所要：6日
作業名：床工事	期間：5月22日～5月27日	所要：5日

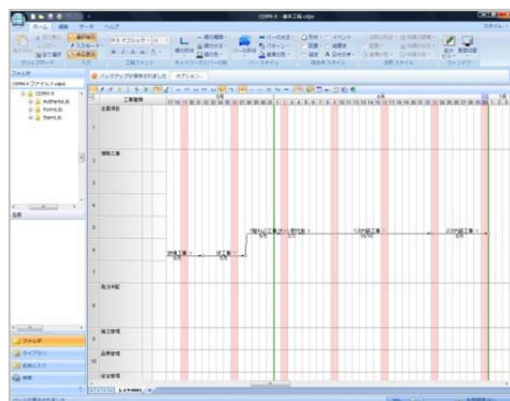


- ⑬ [ホームリボン]ーネットワークとバーの枠内[線の種類]ドロップダウンリストから  
 <前固定 (L字)>  を選択します。

**注意** [線の種類]を変更するときは作業線を選択していない状態で行ってください。

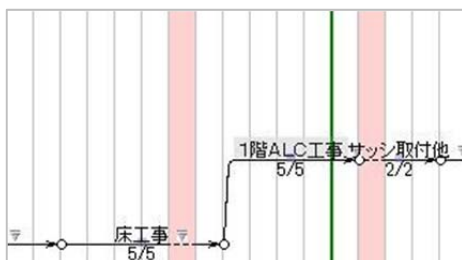
- ⑭ 次の作業線を入力します。

作業名：1階ALC工事	期間：5月28日～6月1日	所要：5日
作業名：サッシ取付他	期間：6月2日～6月4日	所要：3日
作業名：1次内装工事	期間：6月5日～6月22日	所要：15日
作業名：2次内装工事	期間：6月23日～6月30日	所要：7日

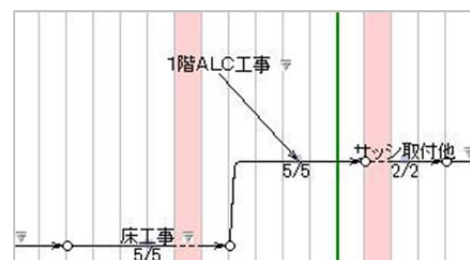


- ⑮ 文字の表示位置を変更します。

[ホームリボン]ー入力内<選択/指示>選択後、『1階ALC工事』の作業名にマウスポインタを合わせると作業名がホバーセレクトの状態になり、またマウスカーソルの形が変化します。変化を確認しマウ左ドラッグすると作業線と作業名を結ぶ引出線が表示になります。



ホバーセレクト状態



引出線表示



**参考** 引出線の表現を変更するには

作業名『1階ALC工事』にマウスポインタを合わせ右クリック、[プロパティ]コマンドを選択し[作業線のプロパティ]－[引出線]タブを選択します。

罫線や引出線の表現、作業名からの引出線表示開始位置を選択します。

選択した表現は右側サンプル画面に表示になります。



- ⑩ 作業線『サッシ取付他』の文字表示について同様に表示位置を変更します。

●工程表の内容をコピーする

工程表示画面において指定した領域に含まれる作業線・結合点・コメントボックスまたは選択した作業線・結合点・コメントボックスをクリップボードにコピーして他の位置に貼り付けることができます。

- ① [ホームリボン]－入力内<選択/指示>を選択します。

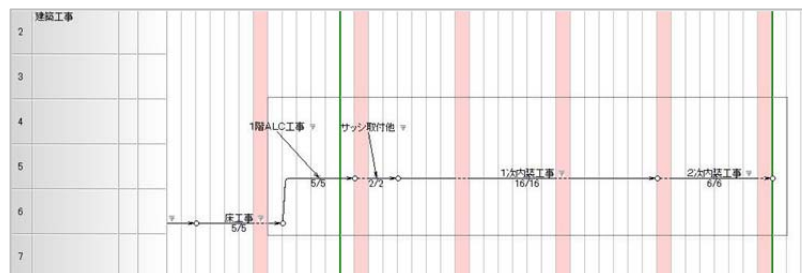
1階ALC工事から2次内装工事までを選択します。

データを選択する方法は2通りあります。

A：コピーする領域を左ドラッグして指定

領域指定は、左上隅から右下隅へまたは右上隅から左下隅へ左ドラッグします。

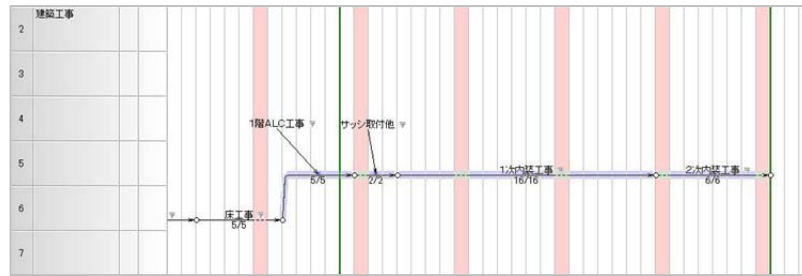
作業線をコピーするときは両端にある結合点が含まれるように領域指定します。



B：コピーする作業線をクリックして指定

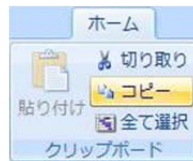
作業線をクリックしてセレクト状態にします。

複数の作業線を指定するときは、「Shift」キーを押しながら作業線をクリックします。



② 選択したデータをコピーします。

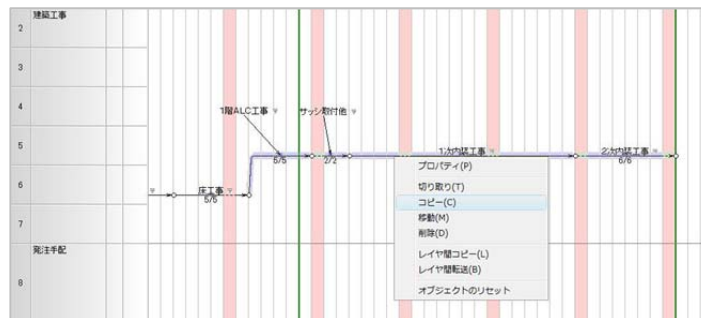
[ホームリボン]ークリップボード内[コピー]コマンドを選択するとクリップボードにデータをコピーします。



**参考** 作業線ポップアップメニューからコピーを選択できます。

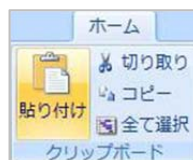
領域指定またはセレクトした作業線上で右クリックするとポップアップメニューが表示されます。[コピー]コマンドを選択するとクリップボードにデータをコピーします。

マウスの移動に従って、コピーした領域の大きさを示す点線矩形を表示します。

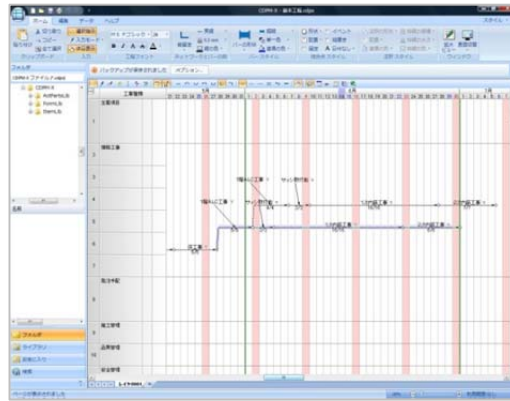


③ コピーデータを貼り付けます。

[ホームリボン]ークリップボード内[貼り付け]コマンドを選択しデータを貼り付けします。



貼り付け先の6月1日の『1階ALC工事』と『サッシ取付他』の間の結合点にコピーデータ点線矩形の左下隅が合うようにマウスポインタを移動し左クリックします。



その後、貼り付けした工程の6月6日『A L C工事』と『サッシ取付他』の間の結合点へ同様の操作を連続して行います。

④ 右クリックにて点線矩形を解除し、貼り付けを終了します。

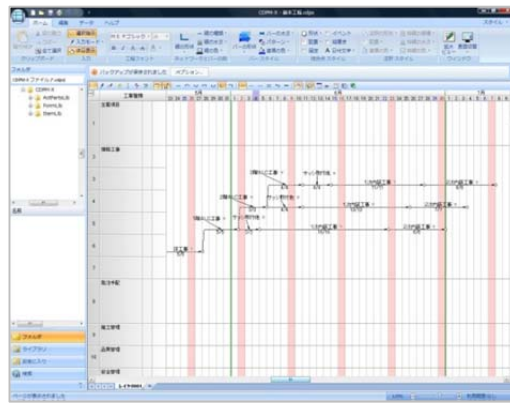
⑤ 貼り付けした作業線の作業名の変更および期間を調整します。

作業名：2階A L C工事	期間：6月 2日～6月 5日	所要： 3日
作業名：サッシ取付他	期間：6月 6日～6月10日	所要： 4日
作業名：1次内装工事	期間：6月11日～6月25日	所要：13日
作業名：2次内装工事	期間：6月26日～7月 3日	所要： 7日
作業名：3階A L C工事	期間：6月 6日～6月10日	所要： 4日
作業名：サッシ取付他	期間：6月11日～6月14日	所要： 4日
作業名：1次内装工事	期間：6月15日～6月27日	所要：11日
作業名：2次内装工事	期間：6月28日～7月 7日	所要： 8日

作業名の変更： 作業線をクリック選択、プロパティビューを[工程カテゴリ]に切替し  
[作業名]カテゴリにて変更します。

**参考** 作業名の変更は[作業線のプロパティ]ー[標準]タブー[作業名:]テキストボックスから  
も行えます。

期間の変更： [ホームリボン]ー入力内<選択/指示>を選択し、作業線終了結合点上にマウス  
ポインタを合わせマウスカーソルが変化したことを確認し、左ドラックにて  
調整します。



これまでの操作方法で、以下の作業線を入力します。

作業名：屋上防水工事	期間：6月10日～6月21日	所要：10日	前固定（L字）/実線
作業名：外装工事	期間：6月22日～7月7日	所要：13日	後固定（逆L字）/実線
作業名：諸検査	期間：7月8日～7月15日	所要：6日	前固定（L字）/実線
作業名：引き渡し（縦書）	期間：7月16日～7月16日	所要：1日	前固定（L字）/実線

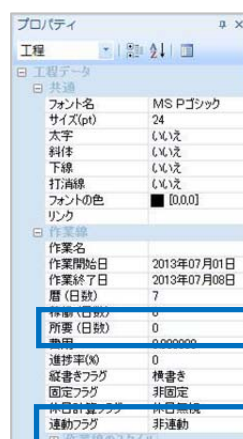
1階：2次内装工事作業線の終了結合点から

作業名：<なし>	期間：7月1日～7月7日	所要：0日	後固定（逆L字）/点線
----------	--------------	-------	-------------

2階：2次内装工事作業線の終了結合点から

作業名：<なし>	期間：7月4日～7月7日	所要：0日	後固定（逆L字）/点線
----------	--------------	-------	-------------

[ホームリボン]－入力内[入力モード]ドロップダウンリストにて<描画連動>を選択したときは作業線の実働日数と同じ日数を所要日数に自動表示します。作業線の伸縮に合わせて所要日数の表示も変わります。作業線毎に自動表示の設定を解除することができます。作業線をクリックして選択し、プロパティビューを[工程]カテゴリに切替し、[連動フラグ]ドロップダウンリストから[非連動]を選択し、[所要]カテゴリの数値を「0」にします。



**参考** 所要日数の変更は[作業線のプロパティ]－[標準]タブから行えます。

[作業線のプロパティ]－[標準]タブ内－休日ボタンONのとき連動[実]チェックボックス（休日ボタンOFFのときは連動[暦]チェックボックスになります。）のチェックをクリックして外します。[所要:]テキストボックスに『0』を入力します。

[工程表にデータを入力する]

作業線のプロパティ

項目名: ID: 00010017

作業名: [補]

自: 2013年 6月10日 月曜日 00:00 11日間

至: 2013年 6月21日 金曜日 00:00 10日間

埋込 所要: 0 日間 連動[無]

進捗率: 0% 100%

URL: カレント

OK キャンセル 適用(A)

\* 線の種類<点線>・<一点鎖線>を選択すると自動的に休日ボタンがOFFになります。

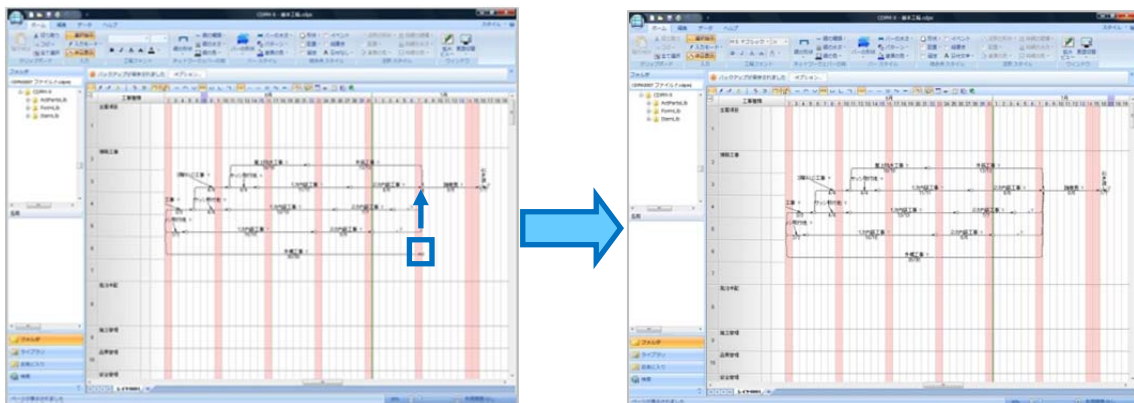
[ホームリボン]—線の形状<両固定 (L) > を使用し作業線を入力します。

**注意** [線の種類]を変更するときは作業線を選択していない状態で行ってください。

1 階 A L C 工事作業線終了結合点から

作業名：外構工事 期間：6月 2日～7月 7日 所要：11日 両固定 (L) /実線

ホームリボン—<選択/指示>ボタンを選択後、外構工事終了結合点上にマウスポインタを合わせ結合点を3階：2次内装工事作業線の終了結合点までドラッグします。



所要日数を変更します。

外構工事作業線をクリック選択し、プロパティビューカテゴリ表示を[工程]に切替えます。

[連動フラグ]ドロップダウンリストにて『非連動』を選択します。

[所要 (日数)]カテゴリにて所要日数を『11』に変更します。

プロパティ

工程

工程データ

共通

フォント名: MS Pゴシック

サイズ(p): 24

太字: 無効

斜体: 無効

下線: 無効

打消線: 無効

フォントの色: [0,0,0]

リンク: 無効

作業線

作業名: 外構工事

作業開始日: 2013年06月02日

作業終了日: 2013年07月08日

暦 (日数): 36

所要 (日数): 11

費用: 0.000000

進捗率(%) : 0

縦書きフラグ: 横書き

固定フラグ: 固定

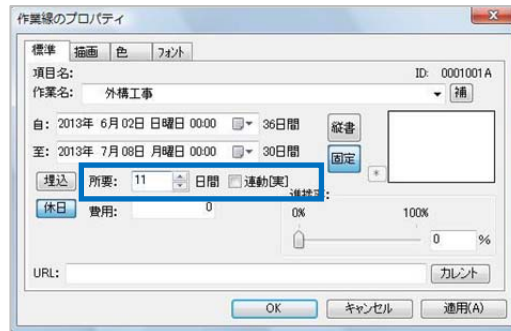
休日計算フラグ: 休日考慮

連動フラグ: 非連動

**参考**

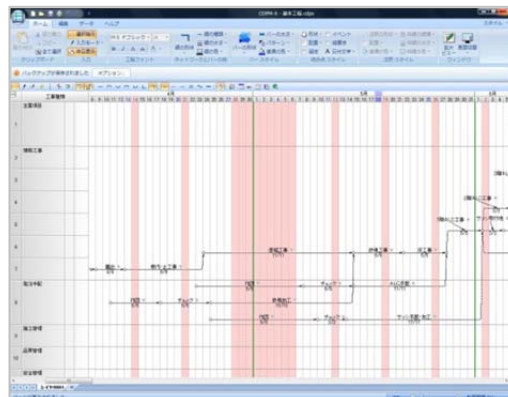
所要日数の変更は[作業線のプロパティ]ー[標準]タブから行えます。

[作業線のプロパティ]ー[標準]タブ内ー休日ボタンONのとき連動[実]チェックボックス（休日ボタンOFFのときは連動[暦]チェックボックスになります。）のチェックをクリックして外します。[所要:]テキストボックスに『11』を入力します。



次に発注手配に含まれる作業線を入力します。

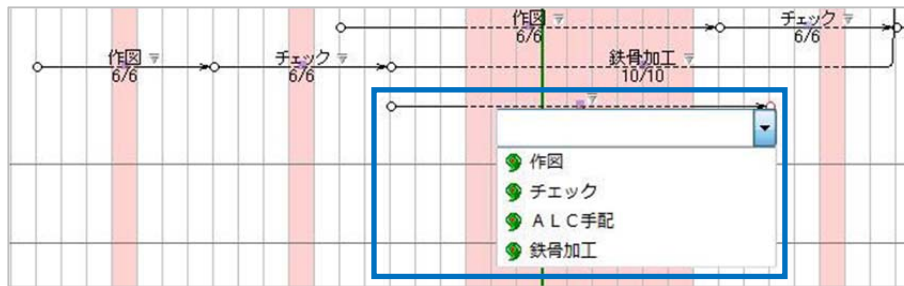
作業名: 作図	期間: 4月23日～5月7日	所要: 6日	前固定(L字)/実線
作業名: チェック	期間: 5月8日～5月14日	所要: 6日	前固定(L字)/実線
作業名: ALC手配	期間: 5月15日～5月27日	所要: 11日	後固定(逆L字)/実線
作業名: 作図	期間: 4月11日～4月17日	所要: 6日	前固定(L字)/実線
作業名: チェック	期間: 4月18日～4月24日	所要: 6日	前固定(L字)/実線
作業名: 鉄骨加工	期間: 4月25日～5月14日	所要: 10日	後固定(逆L字)/実線
作業名: 作図	期間: 4月25日～5月9日	所要: 6日	前固定(L字)/実線
作業名: チェック	期間: 5月10日～5月13日	所要: 3日	前固定(L字)/実線
作業名: サッシ手配・加工	期間: 5月14日～6月2日	所要: 17日	後固定(逆L字)/実線



**参考**

同じ項目行に同じ作業名の作業線を入力するとき、スマート表示BOXリストの中から作業名を選択できます。

[工程表にデータを入力する]





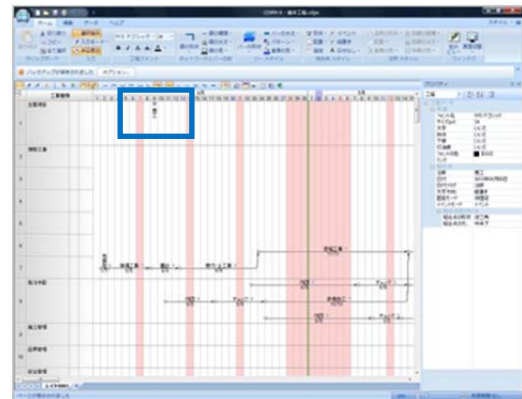
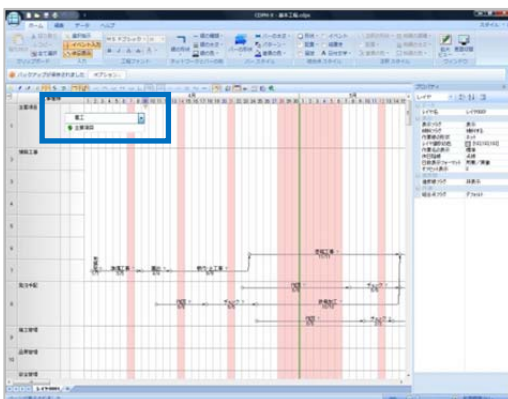
## 工程表にイベントを入力する

[ホームリボン]－入力内[入力モード]ドロップダウンリスト内<イベント入力>ボタンから文字を入力する操作を説明します。

### ● イベントを入力する

[ホームリボン]－入力内[入力モード]ドロップダウンリスト<イベント入力>ボタンを選択すると自動的に入力文字がユニット中央に縦書表示になります。

- ① ホームリボン－入力内の入力モードドロップダウンリストにてボタンを変更します。  
<イベント入力>ボタン  を選択時マウスカースルが  に切替ります。
- ② 4月9日にマウスカースルを合わせ左クリックします。  
スマート表示BOXが表示され『着工』と入力し、文字を確定します。



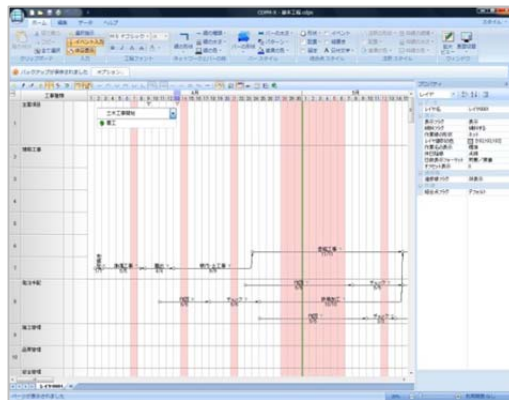
\* 入力文字『着工』は日付中央縦書、形状は▽にて表示になります。

マウスカースルがイベント入力を維持しますので連続して入力できます。  
イベント入力を解除するときは右クリック、または入力モードドロップダウンリストにて別のボタンに切り替えます。



- ③ 4月13日に『土木工事開始』と入力します。

マウ斯卡ーソルを4月13日に合わせ左クリックし、スマート表示BOXに『土木工事開始』と入力後文字を確定します。



次のイベントを入力します。

- 日付：4月24日   ▽基礎工事開始
- 日付：5月15日   ▽鉄骨建て方開始
- 日付：5月28日   ▽ALC工事開始
- 日付：6月 5日   ▽内装工事開始
- 日付：7月 2日   ▽外部足場解体
- 日付：7月 8日   ▽諸官庁検査開始
- 日付：7月16日   ▽御引き渡し

---

### ●結合点のプロパティから文字を入力する

---

[結合点]に文字を入力する操作を説明します。

- ① [ホームリボン]ー入力内[入力モード]ドロップダウンリストにて次のボタンに変更します。

＜単入力＞ボタン  を選択します。

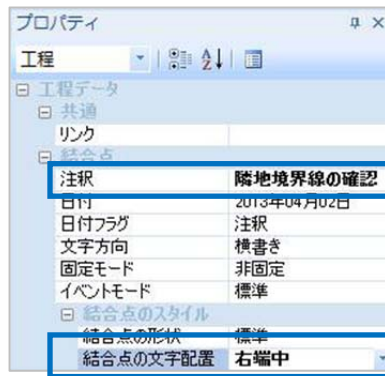
- ② 項目行「施工管理」の4月2日にマウ斯卡ーソルを合わせて左クリックします。  
4月1日と2日の間にある日付線上に結合点「○」が表示されます。

- ③ 結合点にマウ斯卡ーソルを合わせてクリックし、プロパティビューのカテゴリ表示を[工程]に切替えます。

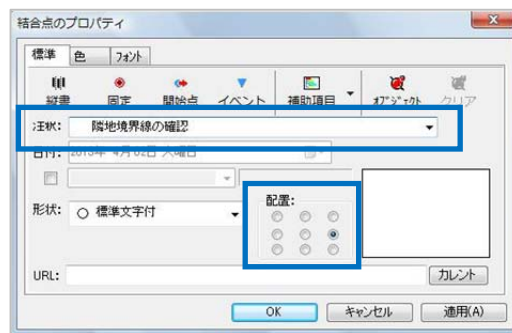
注釈カテゴリに「隣地境界線の確認」の文字を入力します。

[結合点の文字配置]ドロップダウンリストにて「右端中」を選択します。

\* [工程]カテゴリに[結合点の文字配置]が表示されていないときは、田結合点のスタイルの田マークをクリックします。




- 参考** 結合点への文字入力は[結合点のプロパティ]ー[標準]タブからも行えます。  
 [注釈]テキストボックスに文字を入力します。  
 配置のエリアにて右側中央の○をクリックし選択します。



## ● 結合点をコピーして文字を変更する

複数の結合点文字入力を行うときは、すでに作成してある結合点データをコピーし、文字を変更します。

キーボードとマウスを使用しコピーする操作を説明します。

- ① [ホームリボン]ー入力内[入力モード]ドロップダウンリストからの次のボタンを選択します。  
 <選択/指示>ボタン  を選択します。
- ② 「Shift」キーを押しながら『隣地境界線の確認』の文字左側にある結合点上にマウスポインタを合わせ、マウスカーソルが変化したとき左ドラッグを始め、『隣地境界線の確認』の文字前の結合点「○」の下で左ドラッグを終了します。

**注意** 左ドラッグの操作中にキーボードの「Shift」キーを押してもコピーされません。  
 最初に「Shift」キーを押してからドラッグ操作を始めます。

- ③ コピーした『隣地境界線の確認』をクリックし、プロパティビューのカテゴリ表示を「工程」に切替えます。  
 注釈カテゴリの「隣地境界線の確認」を「施工計画の立案」に変更します。

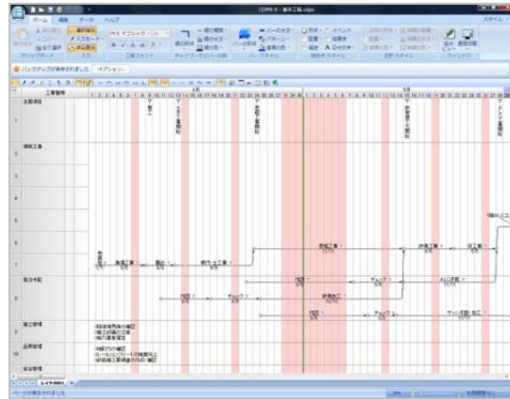
結合点を使用して以下の文字を横書きにし、4月2日に入力します。

『施工管理』項目行：協力業者選定

『品質管理』項目行：地耐力の確認

『品質管理』項目行：レベルコンクリートの精度向上

『品質管理』項目行：鉄骨施工要領書の作成・確認



## ●作業線の開始及び終了結合点に文字を入力する

作業線の開始及び終了結合点に文字を縦書きに入力する操作を説明します。

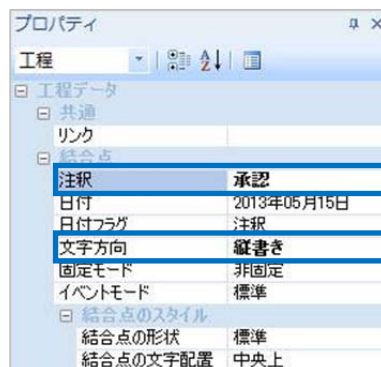
プロパティビュー工程カテゴリから文字を入力し縦書きにします。

- ① [ホームリボン]ー入力内[入力モード]ドロップダウンリストから次のボタンを選択します。

<選択指示>ボタン  を選択します。

- ② 縦書文字を入力する作業線の結合点にマウスカソールを合わせクリックし、プロパティビューのカテゴリ表示を[工程]に切替えます。

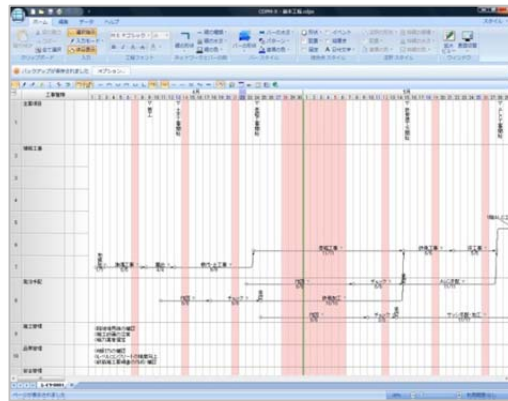
プロパティビューカテゴリ表示を[工程]に切替え、[注釈]に『承認』と入力し、[文字方向]ドロップダウンリストにて[縦書き]を選択します。



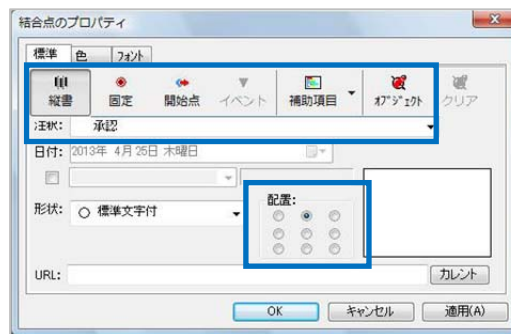
項目行「発注手配」に含まれる次の結合点を縦書きに設定し『承認』と入力します。

4月25日 「鉄骨加工」の開始結合点

5月14日 「サッシ手配・加工」の開始結合点




**参考** 結合点への縦書き文字入力は[結合点のプロパティ]ー[標準]タブから行えます。  
 [注釈]テキストボックスに文字を入力します。  
 [縦書]ボタンをクリックして選択します。  
 配置のエリアにて中央上の○をクリックし選択します。

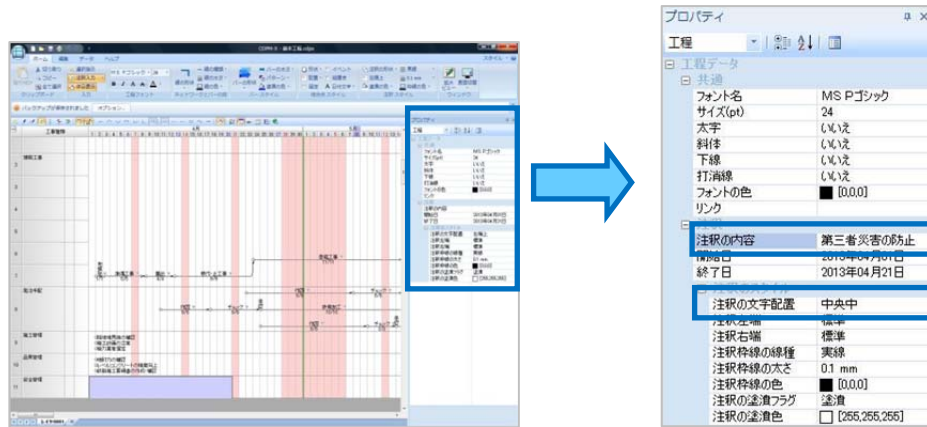


## ●注釈から文字を入力する

＜注釈＞ボタンを選択し文字を入力する操作を説明します。

- ① [ホームリボン]ー入力内[入力モード]ドロップダウンリストから次のボタンを選択します。  
 ＜注釈＞ボタン  を選択します。
- ② 項目行『安全管理』 4月1日から4月20日まで左ドラッグして位置を設定します。  
 位置を設定直後はセレクト状態の色を表示し枠線で囲われます。  
 プロパティビューカテゴリ表示は[工程]に切替り、セレクト状態データのプロパティ情報を表示します。
- ③ [工程]カテゴリに文字を入力し、文字表示位置を変更します。  
 [工程]カテゴリ内注釈の内容に「第三者災害の防止」と入力します。  
 [注釈の文字位置]ドロップダウンリストから「中央中」を選択します。

[工程表にデータを入力する]



\* [工程] カテゴリに[注釈の文字配置]が表示されていないときは、注釈のスタイルの田マークをクリックします。

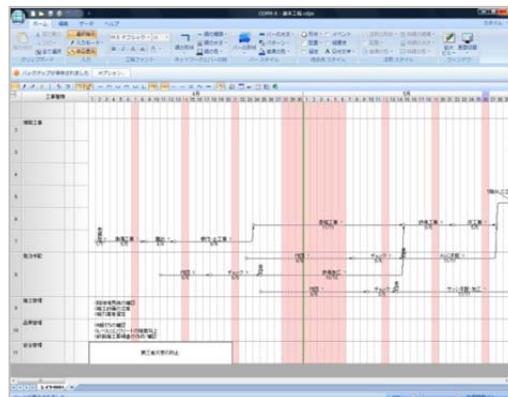
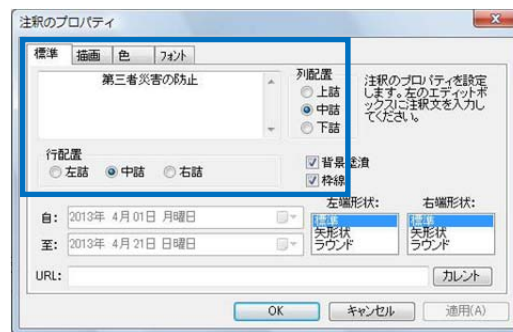
### 参考

注釈への文字入力は[注釈のプロパティ]ー[標準]タブからも行えます。

標準タブー左上テキストボックスに文字を入力します。

行配置にて「中詰」を選択します。

列配置にて「中詰」を選択します。



設定した注釈エリアの中央に『第三者災害の防止』と表示になります。

## ●注釈をコピーして文字を変更する

すでに作成してある注釈データをコピーし文字を変更する操作を行います。

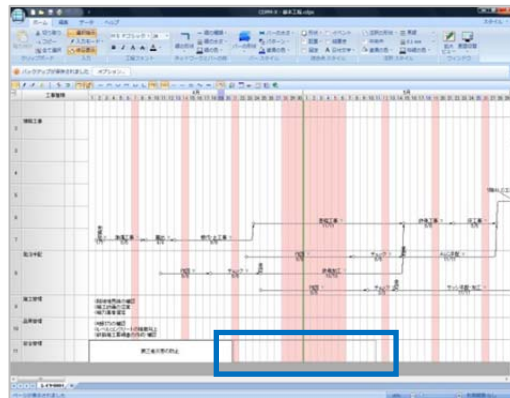
キーボードとマウスを使用しコピーする操作を説明します。

- ① [ホームリボン]ー入力内[入力モード]ドロップダウンリストから次のボタンを選択します。

＜選択指示＞ボタン  を選択します。

- ② 「Ctrl」キーを押しながら注釈データ『第三者災害の防止』のエリア内にマウスポインタを合わせマウスカーソルが変化したとき左ドラッグします。

点線矩形と既に作成済みの注釈データが重ならないように注意し、コピー先まで左ドラッグします。



このとき注釈データエリアと同じサイズの点線矩形が表示されます。

- ③ コピーした注釈上をクリックし、プロパティビューカテゴリ表示を「工程」に切替えます。

[工程]カテゴリ内注釈の内容「第三者災害の防止」を「重機災害の防止」に変更します。

注釈データをコピーして『安全管理項』項目行に文字を表示します。

注釈表示期間：5月11日～5月30日	電気災害の防止
注釈表示期間：5月31日～6月19日	飛来・落下災害の防止
注釈表示期間：6月20日～7月9日	墜落災害の防止
注釈表示期間：7月10日～7月29日	火災災害の防止



## 工程表を印刷する

### 印刷イメージをみて体裁を整える

工程表を印刷前に、印刷イメージをみながら工程表の体裁を整えるための操作を説明します。

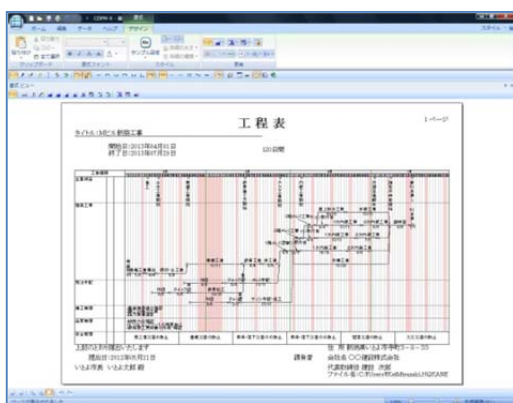
#### ●印刷イメージをみる

工程表を印刷するまえに、印刷イメージを画面に表示します。

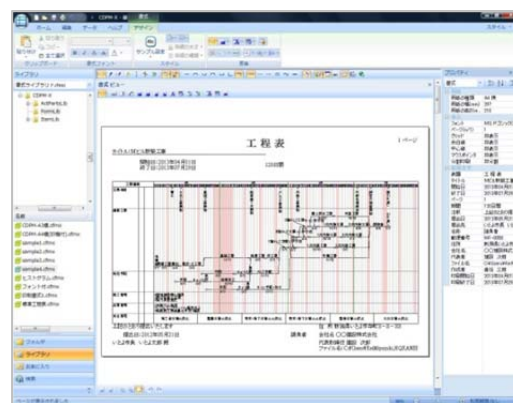
#### ① 印刷イメージを表示します。

[ホームリボン]－ウィンドウ内[画面切替]ドロップダウンリストから[書式ビュー]を選択します。

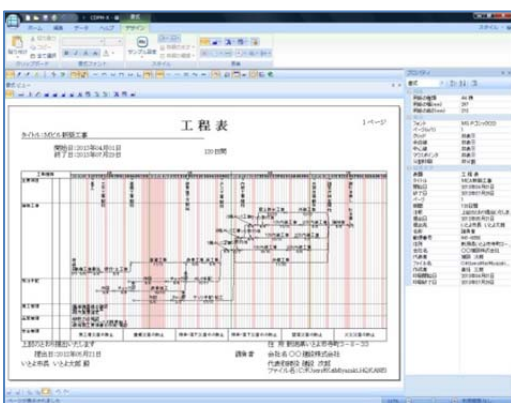
書式ビューのサイズと表示位置はご使用のモニターサイズに合わせて調整します。



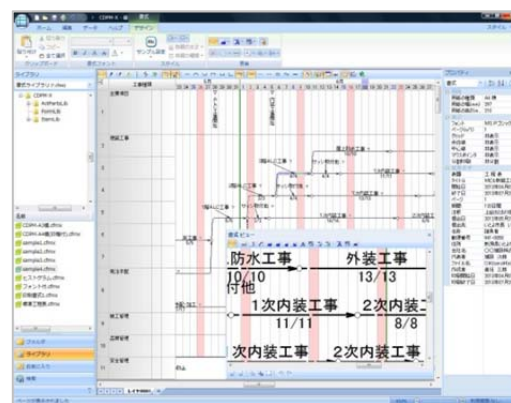
書式ビューを前面に表示



ビュー表示2 + 書式ビュー



ビュー表示1 + 書式ビュー



ビュー表示2 + 書式（拡大）ビュー

#### 参考 拡大ビューの設定について

[ホームリボン]－ウィンドウ内[拡大ビュー]ボタンをクリックします。

工程表示画面にて拡大して表示したいエリアをドラッグし選択します。



## ●印刷書式を選択する

印刷書式をあらかじめ登録しておき、その都度印刷書式を変更して印刷することができます。

保存している書式データ名を表示し、書式データを変更します。

書式データを変更する

A：ナビゲーションバーから書式データを選択

- ① ナビゲーションバー内[ライブラリ]を選択します。上部ドロップダウンリストから、表示するデータ形式を選択します。

書式ライブラリ (\*.cfmx) または書式 2007 ライブラリ (\*.cfm)

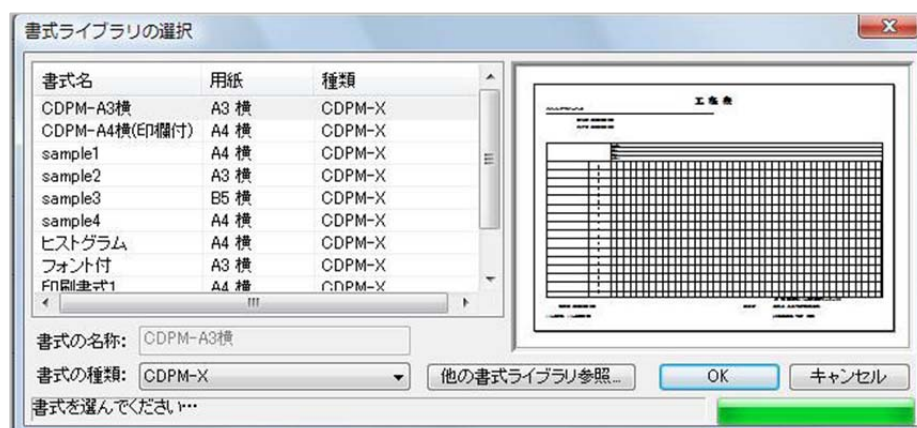
- ② 書式データの保存先を選択します。
- ③ 選択した保存先の書式データ名が表示になります。
- ④ 書式名「sample4.cfm」をダブルクリックし、書式データを変更します。

B：[ファイルメニュー]－[書式ライブラリ]を選択

[ナビゲーションバー]と[書式ライブラリの選択]ダイアログボックスを表示します。

書式ライブラリの選択ダイアログボックスから書式データを選択します

- ① 左側リストの中から書式名を選択すると右側に書式イメージを表示します。
- ② <OK>ボタンをクリックし書式データを変更します。



C：[ファイルメニュー]－[書式ライブラリ]内[クイックライブラリ（書式）]を選択


ナビゲーションバーを表示し、「書式ビューを表示しますか」メッセージを表示します。

書式データの変更は[ナビゲーションバー]から行えます。

\* 「A：ナビゲーションバーから書式データを選択」を参照

## 参考

印刷イメージを拡大または縮小するには全体表示をOFFにします。

[書式バー]－ [全体表示]ボタン  をクリックします。

A：書式バーの[拡大]・[縮小]ボタンを使用する。

- ① 拡大表示

[書式バー]－ [拡大]ボタン  をクリックします。

- ② 縮小表示

[書式バー]－ [縮小]ボタン  をクリックします。

B：キーボードとマウスホイールを使用する。

書式ビュー上をクリックします。

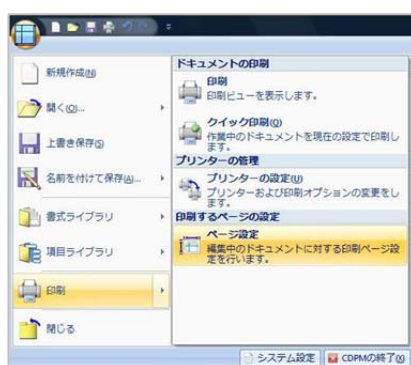
「Ctrl」キーを押しながらマウスホイールをスクロールします。

\* 「Ctrl」キーを押しながらマウスホイールをスクロールしても画面が拡大縮小しないときは、全体表示がONまたは書式ビューを選択していません。

## ● 設定している用紙サイズ 1 枚にデータを収める

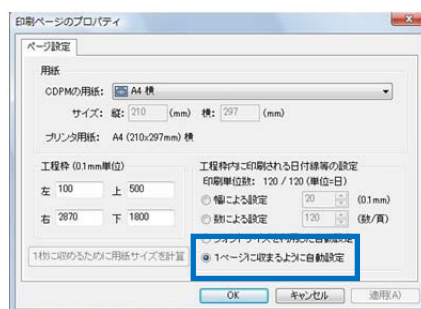
設定用紙 1 枚に全ての工程が収まるように設定する操作を説明します。

① [ファイル]メニュー印刷内[ページ設定]コマンドを選択します。

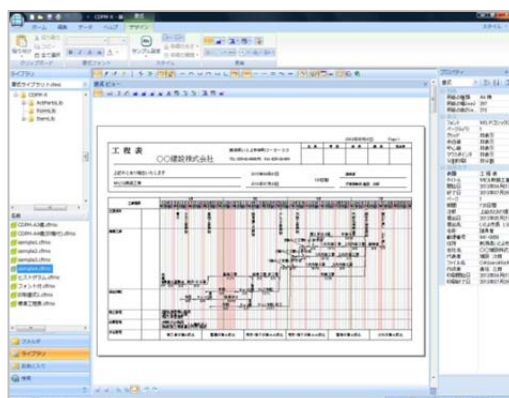


② 印刷ページのプロパティダイアログボックスが表示になります。

工程枠内に印刷される日付線等の設定にて[1 ページに収まるように自動設定]を選択します。



③ <OK> ボタンをクリックします。



## 参考

[1 ページに収まるように自動設定]は印刷ビューからも設定できます。

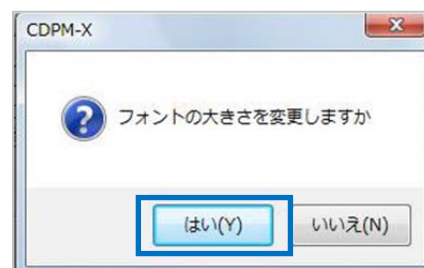
[ホームリボン]ーウィンドウ内[画面切替]ドロップダウンリストにて[印刷ビュー] を選択します。1 ページに収まるように設定をクリックして選択します。



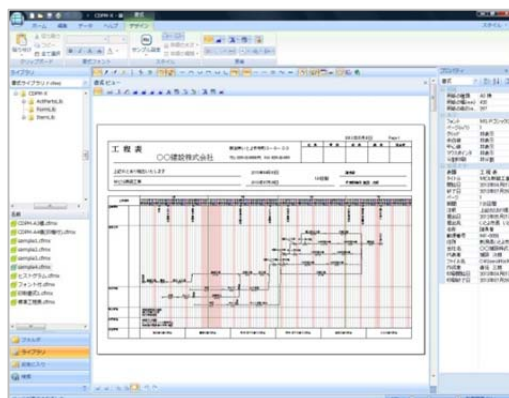
## ●用紙サイズを変更する

印刷する用紙サイズを変更する設定を説明します。

- ① プロパティビューのカテゴリ表示をドロップダウンリストにて[書式]を選択します。  
[用紙の種類]ドロップダウンリストにて『A3横』を選択します。  
「フォントの大きさを変更しますか」メッセージが表示になります。  
「はい」を選択：書式要素のフォントデータを新しい書式サイズに合わせて、拡大縮小します。  
「いいえ」を選択：設定しているフォントサイズを維持します。



選択した用紙サイズ 1 ページ内に全ての工程が収まりました。



## ●工程表をプリンタやプロッタに出力する

工程表を印刷する操作を説明します。工程表を印刷するには次のように操作します。

### ① [印刷ビュー]を画面に表示します。

[ホームリボン]ーウィンドウ内[画面切替]ドロップダウンリストから[印刷ビュー]を選択します。



印刷ビューには、印刷に関連する『ページ設定』と『印刷範囲の設定』や設定済の『印刷範囲』のリストを表示します。

## 参考 印刷ビューを表示する操作について

A : [ファイルメニュー]ー印刷内[印刷] を選択します。

B : 工程バー内[印刷ビュー]ボタンを選択します。

### ② 印刷するプリンタを選択します。

プリンタドロップダウンリストの中から選択します。

### ③ [印刷]ボタンをクリックします。



## CDPM-Xの終了

### CDPM-Xを閉じる

作業中の工程表を保存して、CDPM-Xを終了する操作を説明します。

- ① [ファイルメニュー]－[上書き保存]コマンドを選択します。

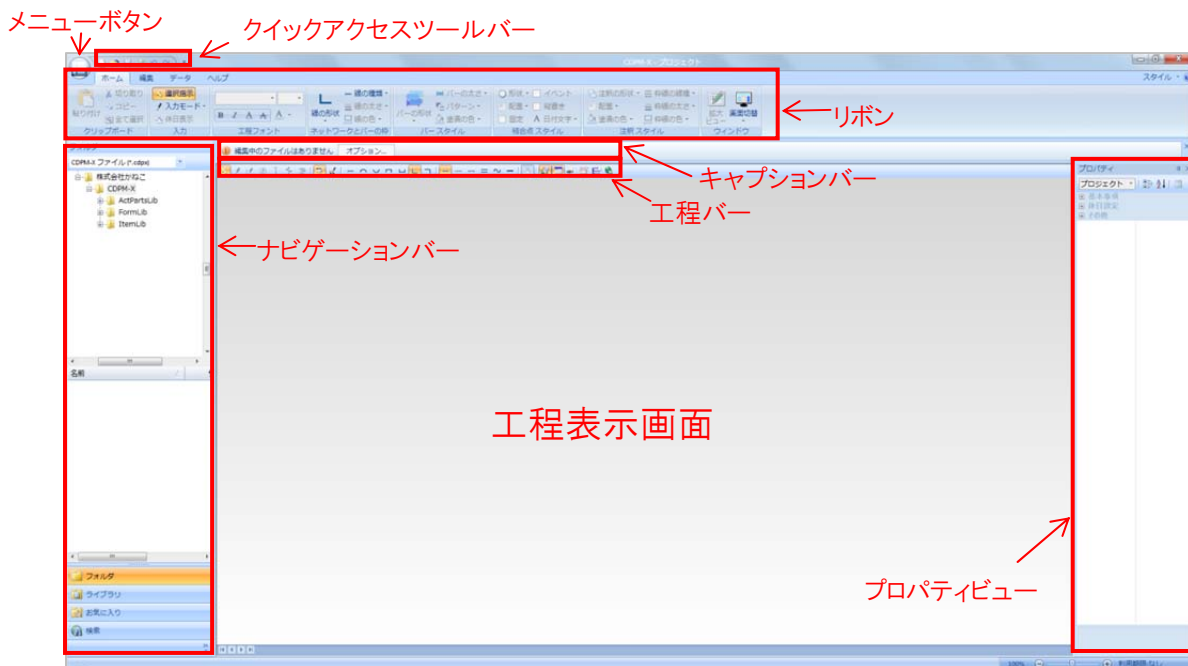


- ② [ファイルメニュー]－[CDPMの終了]ボタンを選択します。



## CDPM-X の画面構成

初回起動時の画面構成について説明します



CDPM-X 初回起動時の画面

- ① メニューボタン  
左上に「メニュー」ボタンがあります。CDPM-X のメニューを表示します。
- ② クイックアクセスツールバー  
「メニュー」ボタン横に「クイックアクセスツールバー」を表示しています。  
ここにはよく使うコマンドの登録を行います。
- ③ リボン  
CDPM-X から取り入れた新しいユーザーインターフェースで、CDPM をより効率的に使うために従来のメニューを見直しました。  
リボンは「タブ」「コマンド」「グループ」という基本的な構成要素からなっています。  
リボンの上部に「タブ」を表示しています。内容は「ホーム」「編集」「データ」「ヘルプ」「デザイン」です。デザインタブは操作に応じた表示になります。  
各タブにはコマンドが配置されています。一番下にはグループが表示されています。  
グループではタブ上で関連するコマンドをまとめて表示しています。
- ④ ナビゲーションバー  
CDPM-X のファイルを開く操作、ライブラリ操作（書式の切替、項目マスターの追加）などを行います。  
画面切り替えにより、表示/非表示を切り替えることができます。
- ⑤ キャプションバー  
リボンの下に「キャプションバー」を表示しています。  
ファイル操作に対する情報が表示されます。  
画面切り替えにより、表示/非表示を切り替えることができます。



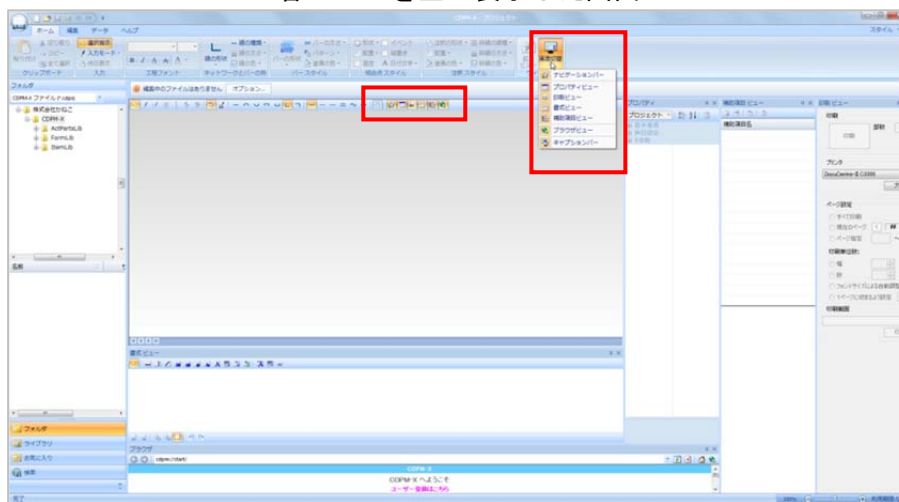
- ⑥ 工程バー  
工程表示画面上部に「工程バー」を表示しています。  
工程の入力に関するボタンの切替や各専用ビューの表示/非表示を行います。
- ⑦ 工程表示画面  
画面中央に「工程表示画面」を配置しています。  
新規作成後工程を入力する画面を表示します。作業線の入力・編集等を行います。
- ⑧ プロパティビュー  
選択した要素のプロパティ情報をカテゴリに表示します。  
プロパティビューから編集を行えます。  
画面切り替えにより、表示/非表示を切り替えることができます。

## ビューのレイアウト

CDPM-Xでは、専用ビューとして「プロパティビュー」「印刷ビュー」「書式ビュー」「補助項目ビュー」「ブラウザビュー」を用意しています。  
各ビューは「ドッキング」「フローティング」を使用し画面上に配置します。

ドッキング：フレームにビューをドッキングした形で配置  
フローティング：自由な場所に配置

各ビューを全て表示した画面



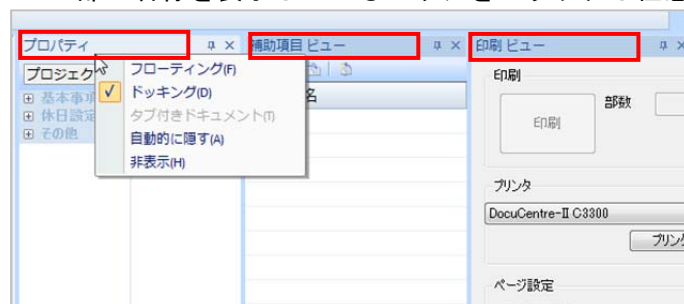
ビューを表示するには  
[ホームタブ]ーウィンドウ内[画面切替]ドロップダウンリストから選択  
工程バーの各ビューのボタンを選択

最初に各ビューを表示すると、上の図のように配置されます。  
各ビューは、ドッキング、フローティングを利用し配置することができます。  
一度配置すると次回表示/次回起動時も同じ場所に配置します

## ●ドッキング フローティングの切替

ドッキング・フローティングの切り替えについて

- A：右クリック後メニューから選択する方法  
ビューの上で右クリックし、表示されるメニューから選択。
- B：ダブルクリックをする方法  
ビュー上部の名称を表示しているエリアをダブルクリック。  
フローティング→ドッキング      ドッキング→フローティング
- C：直接ドラッグする方法  
ビュー上部の名称を表示しているエリアをドラッグし任意の場所に配置。



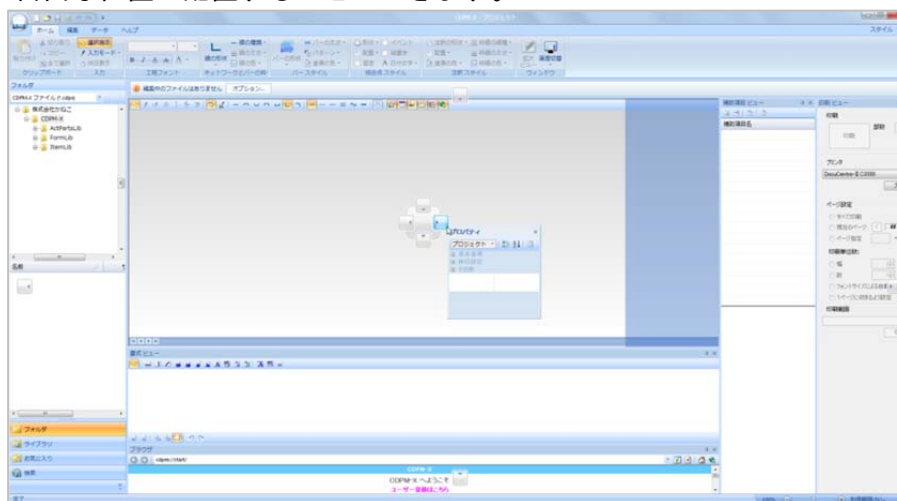
## ●ビューの配置方法

ドッキングについて

フローティングしたビューをドラッグすると画面上に下の図のボタンを表示します。ビューをボタンに合わせることでドッキングして配置することができます。また、他のビューの上に移動することで、そのビューに対して上下左右のボタンが表示され、ボタンの位置にあわせることで他のビューの上や横に配置することができます。ドッキングを選択している場合は「自動的に隠す」を選択することができます。自動的に隠すは、ビューの上にカーソルを合わせるとビューを表示しビューからカーソルが離れると自動的に折りたたみビューを隠します。非表示も右クリックし選択することができます。

フローティングについて

自由な位置に配置することができます。

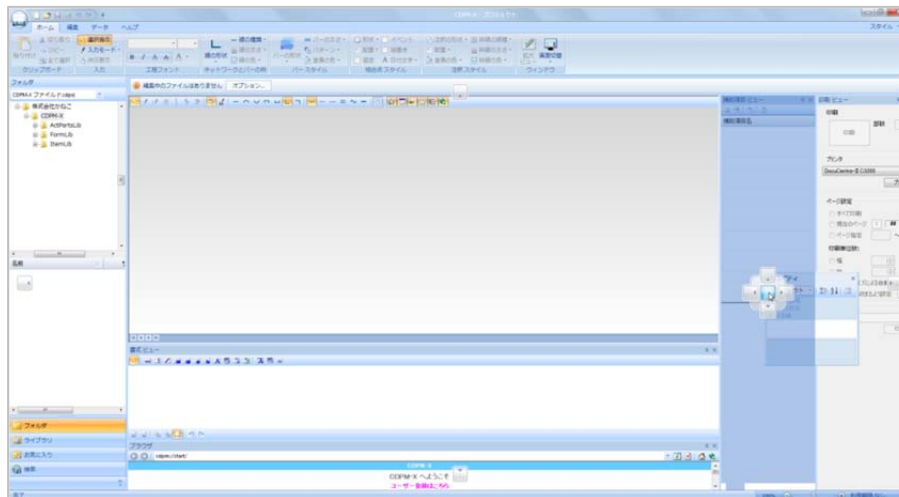


※右クリックをしてメニューが表示されない場合は、ダブルクリックをしてフローティングに切り替えます。

## ●ビューのタブ化

ビューを重ねタブ化することができます。ビューをドラッグし他のビューの上に移動すると下の図のようにボタンが表示されます。上下左右を選択し配置、または中央を選択することで同じ場所に配置となり、配置された後はタブを切り替えてビューの表示を切り替えることができます。

ドッキングしているビュー、フローティングしているビューともにタブ化することができます。

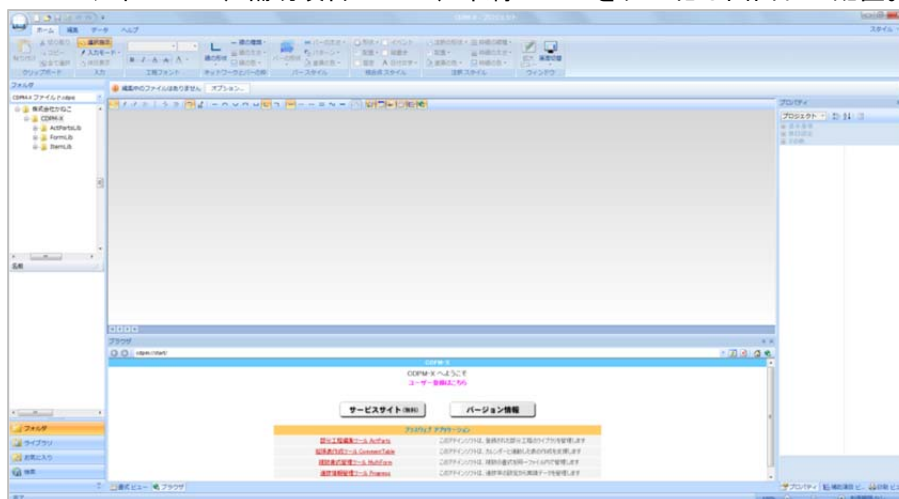


## ●画面レイアウトの例

### 画面の配置例 その1

書式ビュー、ブラウザビューをタブ化し工程表示画面の下に配置。

プロパティビュー、補助項目ビュー、印刷ビューをタブ化し画面右に配置。



## 画面の配置例：その2

書式ビューとブラウザビューをタブ化しフローティングにしています。  
 フローティングしたビューの大きさを変更する場合は、下の図のように四隅にカーソルを合わせ矢印に変化したらドラッグすることで大きさを変更することができます。  
 上下左右についても、それぞれ変更することができます。

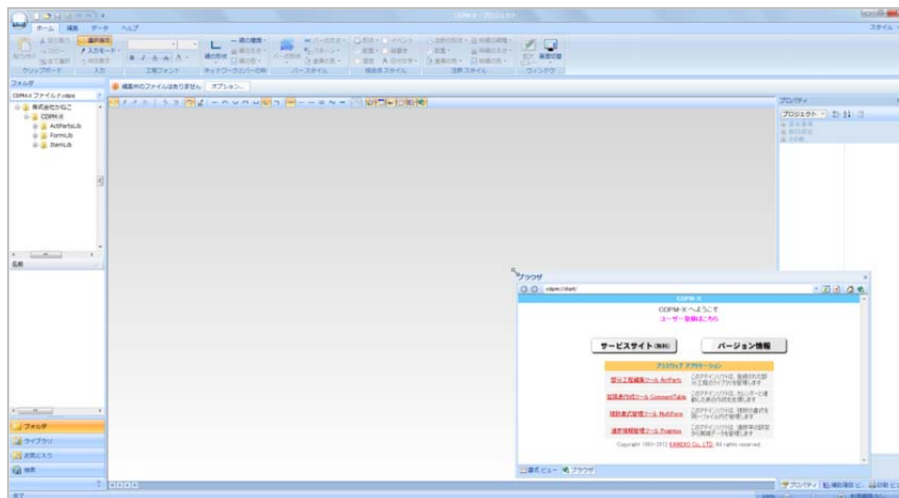


Chart Drawing system for Project Management  
CDPM-Xマニュアル チュートリアル

発行日：2012年6月1日 初版  
2012年6月15日 改訂

Copyright© 株式会社かねこ All rights reserved.

開発元・お問い合わせ先

株式会社かねこ 経営管理室 ソフトウェア開発チーム

〒941-0058 新潟県糸魚川市寺町 3-8-33

Homepage:<http://www.kaneko-corp.co.jp/>

E-mail:[plusweb@kaneko-corp.co.jp](mailto:plusweb@kaneko-corp.co.jp)